

大学番号：公018

注3

共同設置（届出）

[平成26年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置（共同教育課程）

注1

高知県立大学大学院 看護学研究科
兵庫県立大学大学院 看護学研究科
東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科
千葉大学大学院 看護学研究科
日本赤十字看護大学大学院 看護学研究科

注2

【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

高知県立大学：高知県公立大学法人
兵庫県立大学：公立大学法人兵庫県立大学
東京医科歯科大学：国立大学法人東京医科歯科大学
千葉大学：国立大学法人千葉大学
日本赤十字看護大学：学校法人日本赤十字学園
平成30年5月1日現在

高知県立大学：作成担当者

担当部局（課）名 教務課

職名・氏名 カチョウ オギ リンタロウ
課長 荻 林太郎

電話番号 088-847-8580

（夜間） 088-847-8580

F A X 088-847-8605

e-mail ogi@cc.u-kochi.ac.jp

兵庫県立大学：作成担当者

~~担当部局（課）名 学務課~~

担当部局（課）名 地域ケア開発研究課

~~職名・氏名 カチョウ イトウ ハルオ~~
~~課長 伊藤 晴朗~~

職名・氏名 カチョウ ヨシダ コウジ
課長 吉田 孝二

電話番号 078-925-9607

（夜間） 078-925-9607

F A X 078-925-9670

e-mail kouji_yoshia@cnas.u-hyogo.ac.jp

東京医科歯科大学大学院：作成担当者	
担当部局（課）名 統合教育機構学務企画課	
担当部局（課）名 学長戦略企画課	
職名・氏名 ^{カガハウ} 係長 ^{ワカマツ} 若松 ^{モトツグ} 基嗣	
職名・氏名	^{カカリチョウ} 係長 ^{ワカヤマ} 若山 ^{トモヒロ} 友啓
電話番号	03-5803-5021
（夜間）	03-5803-5021
F A X	03-5803-0273
e-mail	houki.adm@tmd.ac.jp
千葉大学：作成担当者	
担当部局（課）名 企画総務部企画政策課	
職名・氏名 ^{ススキ} 調査分析係長 ^{ノリカ} 鈴木 ^{ノリカ} 規親	
職名・氏名	^{チョウザンセオカリチョウ} 調査分析係長 ^{マサキ} 正木 ^{ミナ} 美奈
電話番号	043-290-2141
（夜間）	043-290-2141
F A X	043-290-2022
e-mail	kikaku-soshiki@office.chiba-u.jp
日本赤十字看護大学：作成担当者	
担当部局（課）名 総務課	
担当部局（課）名 経理課	
職名・氏名 ^{ソウムカチョウ} 総務課長 ^{タカベ} 高部 ^{ユウイチ} 雄一	
職名・氏名	^{カチョウ} 課長 ^{ヒライ} 平井 ^{マサヒロ} 雅浩
電話番号	03-3409-0875
（夜間）	03-3409-0875
F A X	03-3409-0589
e-mail	dngl-lms-ml@redcross.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学新設の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	13
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	26
5. 教員組織の状況	37
6. 留意事項等に対する履行状況等	63
7. その他全般的事項	64

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者、大学名

高知県公立大学法人 : 高知県立大学
 公立大学法人兵庫県立大学 : 兵庫県立大学
 国立大学法人東京医科歯科大学 : 東京医科歯科大学大学院
 国立大学法人千葉大学 : 千葉大学
 学校法人日本赤十字学園 : 日本赤十字看護大学

(2) 大学の位置

(高知県立大学)

〒781-8515 : 高知県高知市池2751番地1

(兵庫県立大学)

〒673-8588 : 兵庫県明石市北王子町13番71号

(〒651-2197 : 兵庫県神戸市西区学園西町8丁目2番地の1)

(東京医科歯科大学大学院)

〒113-8510 : 東京都文京区湯島1-5-45

(千葉大学)

〒260-8672 : 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

(〒263-8522 : 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33)

(日本赤十字看護大学)

〒150-0012 : 東京都渋谷区広尾4丁目1番3号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(3) 管理運営組織

大学名	職名	設置時	変更状況	備考
高知県立大学	理事長	(ミナミ ヒロコ) 南 裕子 (平成23年4月)	(ナカザワ タクジ) 中澤 卓史 (平成27年4月)	任期満了による交替(27)
	学長	(ミナミ ヒロコ) 南 裕子 (平成23年4月)	(ノジマ サユミ) 野嶋 佐由美 (平成29年4月)	任期満了による交替(29)
	研究科長	(モリシタ トシコ) 森下 利子 (平成23年4月)	(フジタ サワ) 藤田 佐和 (平成26年4月)	任期満了による交替(26)
兵庫県立大学	理事長	(キヨハラ マサヨシ) 清原 正義 (平成25年4月)	(イオキベ マコト) (イド トシゾウ) 五百旗頭 真 井戸 敏三 (平成30年4月) (平成29年4月)	平成30年4月1日 辞任による交代(30) 任期満了及び理事長・学長分離の為 (29)
	学長	(キヨハラ マサヨシ) 清原 正義 (平成22年4月)	(オオタ イサオ) 太田 勲 (平成29年4月)	任期満了による交替(29)
	研究科長	(カタダ ノリコ) 片田 範子 (平成22年4月)	(クドウ ヨシコ) (サカシタ レイコ) 工藤 美子 坂下 玲子 (平成30年4月) (平成28年4月)	任期満了による交替(28) 任期満了による交替(30)
東京医科歯科大学大学院	理事長			
	学長	(オオヤマ タカシ) 大山 喬史 (平成20年4月)	(ヨシザワ ヤスユキ) 吉澤 靖之 (平成26年4月)	任期満了による交替(25)
	研究科長	(イノウエ トモコ) 井上 智子 (平成23年4月)	(ホンダ アキコ) 本田 彰子 (平成29年4月)	研究科長交代のため 平成26年4月1日(25) 研究科長交代のため 平成29年4月1日(29)

千葉大学	理事長			
	学 長	(サイトウ ヤスシ) 齋藤 康 (平成20年4月1日)	(トクヒサ タケシ) 徳久 剛史 (平成26年4月1日)	任期満了による交替 (26)
	学 部 長	(ミヤザキ ミサコ) 宮崎 美砂子 (平成25年4月1日)	(ナカムラ ノブエ) 中村 伸枝 (平成29年4月1日)	任期満了のため 平成29年4月1日 (29)
日本赤十字看護大学	理事長	(オオツカ ヨシハル) 大塚 義治 (平成17年4月)		
	学 長	(タカダ サナエ) 高田 早苗 (平成23年4月)		
	研究科長	(ツツイ マユミ) 筒井 真優美 (平成23年4月)	(イムラ マスミ) (ホンジョウ ケイコ) 井村 真澄 本庄 恵子 (平成30年4月) (平成27年4月)	任期満了による交替 (27) 任期満了による交替 (30)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え直し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称等

大学名	調査対象研究科等の名称 (学位)	学位又は学科の 分野	設置時の計画				備考
			修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
高知県立大学	大学院看護学研究科 共同災害看護学専攻 (博士課程) 博士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	年 5	人 2	年次 人	人 10	
兵庫県立大学	大学院看護学研究科 共同災害看護学専攻 (一貫制博士課程) 博士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	年 5	人 2	年次 人	人 10	
東京医科歯科大学	大学院保健衛生学研究科 共同災害看護学専攻 (博士課程) 博士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	年 5	人 2	年次 人	人 10	
千葉大学	大学院看護学研究科 共同災害看護学専攻 (5年一貫制博士課程) 博士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	年 5	人 2	年次 人	人 10	
日本赤十字看護大学	大学院保健衛生学研究科 共同災害看護学専攻 (博士課程) 博士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	年 5	人 2	年次 人	人 10	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

大学名	区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
高知県立大学	A 入学定員	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	1.00倍	
	志願者数	2 (-) [1]	- (-) [-]	2 (-) [1]	- (-) [-]	1 (-) [-]	- (-) [-]	3 (-) [2]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
	受験者数	2 (-) [1]	- (-) [-]	2 (-) [1]	- (-) [-]	1 (-) [-]	- (-) [-]	3 (-) [2]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
	合格者数	2 (-) [1]	- (-) [-]	2 (-) [1]	- (-) [-]	1 (-) [-]	- (-) [-]	3 (-) [2]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
	B 入学者数	2 (-) [1]	- (-) [-]	2 (-) [1]	- (-) [-]	1 (-) [-]	- (-) [-]	3 (-) [2]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
	入学定員超過率 B/A	1.00		1.00		0.50		1.50		1.00					
兵庫県立大学	A 入学定員	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	0.80倍	
	志願者数	4 (-) [-]	- (-) [-]	3 (-) [-]	- (-) [-]	4 (-) [1]	- (-) [-]	3 (-) [2]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
	受験者数	4 (-) [1]	- (-) [-]	3 (-) [1]	- (-) [-]	4 (-) [1]	- (-) [-]	2 (-) [2]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
	合格者数	2 (-) [1]	- (-) [-]	2 (-) [1]	- (-) [-]	2 (-) [1]	- (-) [-]	2 (-) [2]	- (-) [-]	1 (-) [-]	- (-) [-]	1 (-) [-]	- (-) [-]		
	B 入学者数	2 (-) [1]	- (-) [-]	2 (-) [1]	- (-) [-]	2 (-) [1]	- (-) [-]	2 (-) [2]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
	入学定員超過率 B/A	1.00		1.00		1.00		1.00		-					
東京医科歯科大学	A 入学定員	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	1.10倍	
	志願者数	8 (1) [0]	- (-) [-]	3 (2) [-]	- (-) [-]	4 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
	受験者数	7 (1) [0]	- (-) [-]	3 (2) [-]	- (-) [-]	4 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
	合格者数	3 (0) [0]	- (-) [-]	2 (2) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
	B 入学者数	3 (0) [0]	- (-) [-]	2 (2) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
	入学定員超過率 B/A	1.50		1.00		1.00		1.00		1.00					
千葉大学	A 入学定員	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	人 2 (-) [-]	人 - (-) [-]	0.90倍	
	志願者数	6 (-) [-]	- (-) [-]	5 (-) [-]	- (-) [-]	4 (-) [-]	- (-) [-]	1 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
	受験者数	6 (-) [-]	- (-) [-]	5 (-) [-]	- (-) [-]	4 (-) [-]	- (-) [-]	1 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
	合格者数	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	1 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
	B 入学者数	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	1 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		
	入学定員超過率 B/A	1.00		1.00		1.00		0.50		1.00					

日本赤十字 看護大学	A 入学定員	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	1.00倍		
	志願者数	3 (-) [-]	- (-) [-]	3 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		2 (-) [-]	- (-) [-]
	受験者数	3 (-) [-]	- (-) [-]	3 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		2 (-) [-]	- (-) [-]
	合格者数	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		2 (-) [-]	- (-) [-]
	B 入学者数	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]	2 (-) [-]	- (-) [-]		2 (-) [-]	- (-) [-]
	入学定員超過率 B/A	1.00		1.00		1.00		1.00			1.00	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで**記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様**にしてください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

大学名	対象年度 学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
高知県立大学	1年次	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [1] (-)	- [-] (-)	1 [-] (-)	- [-] (-)	3 [2] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	
	2年次	/		2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [1] (-)	- [-] (-)	1 [-] (-)	- [-] (-)	3 [2] (-)	- [-] (-)	
	3年次	/		/		2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [1] (-)	- [-] (-)	1 [-] (-)	- [-] (-)	
	4年次	/		/		/		2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [1] (-)	- [-] (-)	
	5年次	/		/		/		/		2 [-] (-)	- [-] (-)	
	計	2 [-] (-)		4 [1] (-)		5 [1] (-)		8 [3] (-)		10 [3] (-)		
兵庫県立大学	1年次	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [1] (-)	- [-] (-)	2 [1] (-)	- [-] (-)	2 [2] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
	2年次	/		2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [1] (-)	- [-] (-)	2 [1] (-)	- [-] (-)	2 [2] (-)	- [-] (-)	
	3年次	/		/		2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [1] (-)	- [-] (-)	2 [1] (-)	- [-] (-)	
	4年次	/		/		/		2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	
	5年次	/		/		/		/		2 [-] (-)	- [-] (-)	
	計	2 [-] (-)		4 [-] (-)		6 [1] (-)		8 [3] (-)		8 [3] (-)		
東京医科歯科大学	1年次	3 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	
	2年次	/		3 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	
	3年次	/		/		3 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	
	4年次	/		/		/		3 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	
	5年次	/		/		/		/		3 [-] (-)	- [-] (-)	
	計	3 [-] (-)		5 [-] (-)		7 [-] (-)		9 [-] (-)		11 [-] (-)		

千葉大学	1年次	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)
	2年次	/		2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	1 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)
	3年次			/		2 [-] (-)	- [-] (-)	3 [-] (-)	- [-] (-)	1 [-] (-)	- [-] (-)
	4年次	/				/		1 [-] (-)	- [-] (-)	4 [-] (-)	- [-] (-)
	5年次			/				/		/	
	計	2 [-] (-)	4 [-] (-)			6 [-] (-)	7 [-] (-)				
日本赤十字 看護大学	1年次	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)
	2年次	/		2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)
	3年次			/		2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)
	4年次	/				/		2 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)
	計			2 [-] (-)	4 [-] (-)			6 [-] (-)	8 [-] (-)	10 [-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
				入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
	高知県立大学	平成26年度	2人	0人	平成26年度	0人	
	平成27年度	4人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
	平成28年度	5人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
				平成28年度	0人	0人	
	平成29年度	8人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
				平成28年度	0人	0人	
				平成29年度	0人	0人	
	平成30年度	9人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
				平成28年度	0人	0人	
				平成29年度	0人	0人	
				平成30年度	0人	0人	
	合 計	9人	0人				
兵庫県立大学	平成26年度	2人	0人	平成26年度	0人	0人	
	平成27年度	4人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
	平成28年度	6人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
				平成28年度	0人	0人	
	平成29年度	8人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
				平成28年度	0人	0人	
				平成29年度	0人	0人	
	平成30年度	0人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
				平成28年度	0人	0人	
				平成29年度	0人	0人	
				平成30年度	0人	0人	
	合 計	8人	0人				

東京医科歯科大学	平成26年度	3人	0人	平成26年度	0人	0人	
	平成27年度	5人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
	平成28年度	7人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
				平成28年度	0人	0人	
	平成29年度	9人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
				平成28年度	0人	0人	
				平成29年度	0人	0人	
	平成30年度	11人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
				平成28年度	0人	0人	
				平成29年度	0人	0人	
平成30年度				0人	0人		
合計	11人	0人					
千葉大学	平成26年度	2人	0人	平成26年度	0人	0人	
	平成27年度	4人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
	平成28年度	6人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
				平成28年度	0人	0人	
	平成29年度	7人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
				平成28年度	0人	0人	
				平成29年度	0人	0人	
	平成30年度	9人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
				平成28年度	0人	0人	
				平成29年度	0人	0人	
平成30年度				0人	0人		
合計	9人	0人					

日本赤十字 看護大学	平成26年度	2人	0人	平成26年度	0人	0人	
	平成27年度	4人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
	平成28年度	6人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
				平成28年度	0人	0人	
	平成29年度	8人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
				平成28年度	0人	0人	
				平成29年度	0人	0人	
	平成30年度	10人	0人	平成26年度	0人	0人	
				平成27年度	0人	0人	
				平成28年度	0人	0人	
				平成29年度	0人	0人	
				平成30年度	0人	0人	
	合計	10人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要ありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください
(記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

(4) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

<高知県立大学>

【平成26年度】

$$\frac{\text{平成26年度の退学者数(a)}}{\text{平成26年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

<兵庫県立大学>

【平成26年度】

$$\frac{\text{平成26年度の退学者数(a)}}{\text{平成26年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

<東京医科歯科大学>

【平成26年度】

$$\frac{\text{平成26年度の退学者数(a)}}{\text{平成26年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

<千葉大学>

【平成26年度】

$$\frac{\text{平成26年度の退学者数(a)}}{\text{平成26年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

<日本赤十字看護大学>

【平成26年度】

$$\frac{\text{平成26年度の退学者数(a)}}{\text{平成26年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護学の学問基盤に関する科目	看護研究方法	1前	高知県立大学	2			2	1				1
	理論看護学Ⅰ	1前	千葉大学	2								2
	理論看護学Ⅱ	3前	高知県立大学	2			2					1
	看護倫理	1前	兵庫県立大学		2		1					
	看護情報統計学	1前	東京医科歯科大学		2							3
	保健学的・疫学的研究法	2前	千葉大学		2							1
	看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)	2前	東京医科歯科大学		1							2
	看護研究方法論Ⅱ(エスノグラフィ)	1後	日本赤十字看護大学		1							1
	看護研究方法論Ⅲ(ケーススタディ・アクションリサーチ)	2前	千葉大学		1		1					1
	看護研究力法論Ⅳ(グランデッドセオリー)	1後	東京医科歯科大学		1							4
看護研究方法論Ⅴ(現象学的研究方法)	1後	高知県立大学		1		1					1	
看護研究方法論Ⅳ(介入研究・尺度開発含)	2前	兵庫県立大学		1							1	
災害グローバルリーダーに必要な学際的な科目群	危機管理論	2前	兵庫県立大学		2							2
	環境防災学	1後	千葉大学		2							2
	グローバルヘルスと政策	2後	東京医科歯科大学		2							6
	専門職連携実践論	1前	千葉大学		2							1
	災害医療学	1前	日本赤十字看護大学		2							5
	災害情報学	1前	兵庫県立大学		2							1
	災害心理学	1前	兵庫県立大学		2							1
	災害と文化	1前	千葉大学		1							2
	災害社会学	2後	高知県立大学		1							1
	災害福祉学	2前	高知県立大学		1							1
Professional writing	2前	高知県立大学		1							2	
Proposal writing (Research proposal writing skill)	2前	東京医科歯科大学		1							2	
Program writing (Program proposal writing skill)	3後	兵庫県立大学		1							1	
災害看護学に関する科目群	災害看護学特論	3前	兵庫県立大学		2		1					5
	災害看護活動論Ⅰ	1前	東京医科歯科大学		2		1					1
	災害看護活動論Ⅱ	1前	日本赤十字看護大学		2		1			1		1
	災害看護活動論Ⅲ	1後	千葉大学		2							1
	災害看護グローバルコーディネーション論	3前	日本赤十字看護大学		1		1					1
	災害国際活動論	3後	日本赤十字看護大学		1		1					1
	災害看護管理・指揮論	3後	高知県立大学		1		1					1
	災害看護倫理	3後	兵庫県立大学		1		1					1
	災害看護理論構築	4前	高知県立大学		2		2					1
	災害看護学演習	災害看護活動論演習Ⅰ	1後	東京医科歯科大学		2		1				
災害看護活動論演習Ⅱ		1後	兵庫県立大学		2		2					2
災害時専門職連携演習(災害IP演習)		1後	千葉大学		2			1				4
災害看護グローバルリーダー演習		2前	日本赤十字看護大学		2		1		1			1
インディペンデントスタディ(演習)A		1後	高知県立大学		1		3	1				
インディペンデントスタディ(演習)B		1後	兵庫県立大学		1		3					
インディペンデントスタディ(演習)C		1後	東京医科歯科大学		1		1	1				
インディペンデントスタディ(演習)D		1後	千葉大学		1		1		1			
インディペンデントスタディ(演習)E		1後	日本赤十字看護大学		1		1		1			
災害看護学実習		災害看護学実習Ⅰ	2前	兵庫県立大学		2		2				
	災害看護学実習Ⅱ	4前	日本赤十字看護大学		2		2		1			
	インディペンデントスタディ(実習)A	1後	高知県立大学		1		1	1				
	インディペンデントスタディ(実習)B	1後	兵庫県立大学		1		2					
	インディペンデントスタディ(実習)C	1後	東京医科歯科大学		1		1	1				
	インディペンデントスタディ(実習)D	1後	千葉大学		1				1			
	インディペンデントスタディ(実習)E	4前	日本赤十字看護大学		1		1		1			
研究看護学支援科目に関する	実践課題レポート	2後	5大学(共同指導)		5		9	2	1			
	災害看護研究開発プロジェクト	3前	5大学(共同指導)		5		9	2	1			
	博士論文	5前	5大学(共同指導)		5		9	2	1			

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
看護学の学問基盤に関する科目	看護研究方法	1前	高知県立大学	2						3			1
	理論看護学Ⅰ	1前	千葉大学	2									2
	理論看護学Ⅱ	3前	高知県立大学	2						2			1
	看護倫理	1前	兵庫県立大学		2					1			
	看護情報統計学	1前	東京医科歯科大学		2								3
	保健学的・疫学的研究法	2前	千葉大学		2								1
	看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)	2前	東京医科歯科大学		1								4
	看護研究方法論Ⅱ(エスノグラフィ)	1後	日本赤十字看護大学		1								1
	看護研究方法論Ⅲ(ケーススタディ・アクションリサーチ)	2前	千葉大学		1		1						1
	看護研究力法論Ⅳ(グランデッドセオリー)	1後	東京医科歯科大学		1					1			1
看護研究方法論Ⅴ(現象学的研究方法)	1後	高知県立大学		1		1						1	
看護研究方法論Ⅳ(介入研究・尺度開発含)	2前	兵庫県立大学		1								1	
災害グローバルリーダーに必要な学際的な科目群	危機管理論	2前	兵庫県立大学		2								1
	環境防災学	1後	千葉大学		2								2
	グローバルヘルスと政策	2後	東京医科歯科大学		2					1			6
	専門職連携実践論	1前	千葉大学		2								1
	災害医療学	1前	日本赤十字看護大学		2					1			5
	災害情報学	1前	兵庫県立大学		2								1
	災害心理学	1前	兵庫県立大学		2								1
	災害と文化	1前	千葉大学		1								3
	災害社会学	2後	高知県立大学		1								1
	災害福祉学	2前	高知県立大学		1								1
Professional writing	2前	高知県立大学		1								2	
Proposal writing (Research proposal writing skill)	2前	東京医科歯科大学		1								3	
Program writing (Program proposal writing skill)	3後	兵庫県立大学		1								1	
災害看護学に関する科目群	災害看護学特論	3前	兵庫県立大学		2					1			1
	災害看護活動論Ⅰ	1前	東京医科歯科大学		2		1			1			4
	災害看護活動論Ⅱ	1前	日本赤十字看護大学		2		1			1			1
	災害看護活動論Ⅲ	1後	千葉大学		2					1			1
	災害看護グローバルコーディネーション論	3前	日本赤十字看護大学		1		1						1
	災害国際活動論	3後	日本赤十字看護大学		1		1						1
	災害看護管理・指揮論	3後	高知県立大学		1		1			1			1
	災害看護倫理	3後	兵庫県立大学		1		1			1			1
	災害看護理論構築	3後	高知県立大学		2		2			1			1
	災害看護学演習	災害看護活動論演習Ⅰ	1後	東京医科歯科大学		2					1	1	
災害看護活動論演習Ⅱ		1後	兵庫県立大学		2					3			2
災害時専門職連携演習(災害IP演習)		1後	千葉大学		2								3
災害看護グローバルリーダー演習		2前	日本赤十字看護大学		2		1			1			1
インディペンデントスタディ(演習)A		1後	高知県立大学		1					3			
インディペンデントスタディ(演習)B		1後	兵庫県立大学		1					3			
インディペンデントスタディ(演習)C		1後	東京医科歯科大学		1		1	1					
インディペンデントスタディ(演習)D		1後	千葉大学		1		1			1	1		
インディペンデントスタディ(演習)E		1後	日本赤十字看護大学		1		1			1	1		
災害看護学実習		災害看護学実習Ⅰ	2前	兵庫県立大学		2					2		
	災害看護学実習Ⅱ	4前	日本赤十字看護大学		2					1	1		
	インディペンデントスタディ(実習)A	1後	高知県立大学		1					2			
	インディペンデントスタディ(実習)B	1後	兵庫県立大学		1					2			
	インディペンデントスタディ(実習)C	1後	東京医科歯科大学		1		1	1					
	インディペンデントスタディ(実習)D	1後	千葉大学		1					1	1		
	インディペンデントスタディ(実習)E	4前	日本赤十字看護大学		1		1			1	1		
研究看護学支援科目に関する	実践課題レポート	2後	5大学(共同指導)		5					7	4		
	災害看護研究開発プロジェクト	3前	5大学(共同指導)		5					7	4		
	博士論文	5前	5大学(共同指導)		5					7	4		

【平成26年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護学の学問基盤に関する科目	看護研究方法	1前	高知県立大学	2			2	1				1
	理論看護学Ⅰ	1前	千葉大学	2								2
	理論看護学Ⅱ	3前	高知県立大学	2								1
	看護倫理	1前	兵庫医科大学	2	2		1					
	看護情報統計学	1前	東京医科大学	2	2							3
	保健学的・疫学的研究法	2前	千葉大学	2								1
	看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)	2前	東京医科大学	1								2
	看護研究方法論Ⅱ(エスノグラフィ)	1後	日本赤十字看護大学	1								1
	看護研究方法論Ⅲ(ケーススタディ・アクションリサーチ)	2前	千葉大学	1			1					1
	看護研究方法論Ⅳ(グランデッドセオリー)	1後	東京医科大学	1								4
看護研究方法論Ⅴ(現象学的研究方法)	1後	高知県立大学	1			1					1	
看護研究方法論Ⅵ(介入研究・尺度開発)	2前	兵庫医科大学	1								1	
災害グローバルリーダーに必要な学際的な科目群	危機管理論	2前	兵庫医科大学	2								2
	環境防災学	1後	千葉大学	2								2
	グローバルヘルスと政策	2後	東京医科大学	2								6
	専門職連携実践論	1前	千葉大学	2								1
	災害医療学	1前	日本赤十字看護大学	2								5
	災害情報学	1前	兵庫医科大学	2								1
	災害心理学	1前	兵庫医科大学	2								1
	災害と文化	1前	千葉大学	1								3
	災害社会学	2後	高知県立大学	1								1
	災害福祉学	2前	高知県立大学	1								1
Professional writing	2前	高知県立大学	1								2	
Proposal writing (Research proposal writing skill)	2前	東京医科大学	1								2	
Program writing (Program proposal writing skill)	3後	兵庫医科大学	1								1	
災害看護学に関する科目群	災害看護学特論	3前	兵庫医科大学	2			1					
	災害看護活動論Ⅰ	1前	東京医科大学	2			1	1				5
	災害看護活動論Ⅱ	1前	日本赤十字看護大学	2			1					1
	災害看護活動論Ⅲ	1後	千葉大学	2					1			1
	災害看護グローバルコーディネーション論	3前	日本赤十字看護大学	1			1					1
	災害国際活動論	3後	日本赤十字看護大学	1			1					1
	災害看護管理・指揮論	3後	高知県立大学	1				1				1
	災害看護倫理	3後	兵庫医科大学	1			1					1
	災害看護理論構築	3後	高知県立大学	2			2					
	災害看護活動論演習Ⅰ	1後	東京医科大学	2			1	1				4
災害看護活動論演習Ⅱ	1後	兵庫医科大学	2			1					2	
災害時専門職連携演習(災害IP演習)	1後	千葉大学	2					1			4	
災害看護グローバルリーダー演習	2前	日本赤十字看護大学	2			1		1			1	
インディペンデントスタディ(演習)A	1後	高知県立大学	1			3	1					
インディペンデントスタディ(演習)B	1後	兵庫医科大学	1			3						
インディペンデントスタディ(演習)C	1後	東京医科大学	1			1	1				1	
インディペンデントスタディ(演習)D	1後	千葉大学	1			1		1				
インディペンデントスタディ(演習)E	1後	日本赤十字看護大学	1			1		1				
災害看護学実習	災害看護学実習Ⅰ	2前	兵庫医科大学	2			2					
	災害看護学実習Ⅱ	4前	日本赤十字看護大学	2			2		1			
	インディペンデントスタディ(実習)A	1後	高知県立大学	1			1	1				
	インディペンデントスタディ(実習)B	1後	兵庫医科大学	1			2					
	インディペンデントスタディ(実習)C	1後	東京医科大学	1			1	1				
	インディペンデントスタディ(実習)D	1後	千葉大学	1					1			
インディペンデントスタディ(実習)E	4前	日本赤十字看護大学	1			1		1				
災害看護学に関する科目群	実践課題レポート	2後	5大学(共同指導)	5			9	2	1			
	災害看護研究開発プロジェクト	3前	5大学(共同指導)	5			9	2	1			
	博士論文	5前	5大学(共同指導)	5			9	2	1			

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護学の学問基盤に関する科目	看護研究方法	1前	高知県立大学	2			2	1				1
	理論看護学Ⅰ	1前	千葉大学	2								2
	理論看護学Ⅱ	3前	高知県立大学	2								1
	看護倫理	1前	兵庫医科大学	2	2		1					
	看護情報統計学	1前	東京医科大学	2	2							3
	保健学的・疫学的研究法	2前	千葉大学	2								1
	看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)	2前	東京医科大学	1								3
	看護研究方法論Ⅱ(エスノグラフィ)	1後	日本赤十字看護大学	1								1
	看護研究方法論Ⅲ(ケーススタディ・アクションリサーチ)	2前	千葉大学	1			1					1
	看護研究方法論Ⅳ(グランデッドセオリー)	1後	東京医科大学	1								4
看護研究方法論Ⅴ(現象学的研究方法)	1後	高知県立大学	1			1					1	
看護研究方法論Ⅵ(介入研究・尺度開発)	2前	兵庫医科大学	1								1	
災害グローバルリーダーに必要な学際的な科目群	危機管理論	2前	兵庫医科大学	2								2
	環境防災学	1後	千葉大学	2								2
	グローバルヘルスと政策	2後	東京医科大学	2								5
	専門職連携実践論	1前	千葉大学	2								1
	災害医療学	1前	日本赤十字看護大学	2								5
	災害情報学	1前	兵庫医科大学	2								1
	災害心理学	1前	兵庫医科大学	2								1
	災害と文化	1前	千葉大学	1								3
	災害社会学	2後	高知県立大学	1								1
	災害福祉学	2前	高知県立大学	1								1
Professional writing	2前	高知県立大学	1								2	
Proposal writing (Research proposal writing skill)	2前	東京医科大学	1								3	
Program writing (Program proposal writing skill)	3後	兵庫医科大学	1								1	
災害看護学に関する科目群	災害看護学特論	3前	兵庫医科大学	2			1					
	災害看護活動論Ⅰ	1前	東京医科大学	2			1	1				5
	災害看護活動論Ⅱ	1前	日本赤十字看護大学	2			1					1
	災害看護活動論Ⅲ	1後	千葉大学	2					1			1
	災害看護グローバルコーディネーション論	3前	日本赤十字看護大学	1			1					1
	災害国際活動論	3後	日本赤十字看護大学	1			1					1
	災害看護管理・指揮論	3後	高知県立大学	1				1				1
	災害看護倫理	3後	兵庫医科大学	1			1					1
	災害看護理論構築	3後	高知県立大学	2			2					
	災害看護活動論演習Ⅰ	1後	東京医科大学	2			1	1				4
災害看護活動論演習Ⅱ	1後	兵庫医科大学	2			1					2	
災害時専門職連携演習(災害IP演習)	1後	千葉大学	2					1			7	
災害看護グローバルリーダー演習	2前	日本赤十字看護大学	2			1		1			1	
インディペンデントスタディ(演習)A	1後	高知県立大学	1			3	1					
インディペンデントスタディ(演習)B	1後	兵庫医科大学	1			3						
インディペンデントスタディ(演習)C	1後	東京医科大学	1			1	1				1	
インディペンデントスタディ(演習)D	1後	千葉大学	1			1		1				
インディペンデントスタディ(演習)E	1後	日本赤十字看護大学	1			1		1				
災害看護学実習	災害看護学実習Ⅰ	2前	兵庫医科大学	2			2					
	災害看護学実習Ⅱ	4前	日本赤十字看護大学	2			2		1			
	インディペンデントスタディ(実習)A	1後	高知県立大学	1			1	1				
	インディペンデントスタディ(実習)B	1後	兵庫医科大学	1			2					
	インディペンデントスタディ(実習)C	1後	東京医科大学	1			1	1				
	インディペンデントスタディ(実習)D	1後	千葉大学	1					1			
インディペンデントスタディ(実習)E	4前	日本赤十字看護大学	1			1		1				
災害看護学に関する科目群	実践課題レポート	2後	5大学(共同指導)	5			9	3				
	災害看護研究開発プロジェクト	3前	5大学(共同指導)	5			9	3				
	博士論文	5前	5大学(共同指導)	5			9	3				

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護学の学問基盤に関する科目	看護研究方法	1前	高知県立大学	2			2	1				1
	理論看護学Ⅰ	1前	千葉大学	2								2
	理論看護学Ⅱ	3前	高知県立大学	2			2					1
	看護倫理	1前	兵庫県立大学	2			1					
	看護情報統計学	1前	東京医科大学	2								3
	保健学的・疫学的研究法	2前	千葉大学	2								1
	看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)	2前	東京医科大学	1								2
	看護研究方法論Ⅱ(エスノグラフィ)	1後	日本赤十字看護大学	1								1
	看護研究方法論Ⅲ(ケーススタディ・アクションリサーチ)	2前	千葉大学	1			1					1
	看護研究方法論Ⅳ(グランデッドセオリー)	1後	東京医科大学	1				1				2
看護研究方法論Ⅴ(現象学的研究方法)	1後	高知県立大学	1			1					1	
看護研究方法論Ⅳ(介入研究・尺度開発)	2前	兵庫県立大学	1								1	
災害グローバルリーダーに必要な学際的な科目群	危機管理論	2前	兵庫県立大学	2								1
	環境防災学	1後	千葉大学	2								2
	グローバルヘルスと政策	2後	東京医科大学	2								5
	専門職連携実践論	1前	千葉大学	2								1
	災害医療学	1前	日本赤十字看護大学	2								5
	災害情報学	1前	兵庫県立大学	2								1
	災害心理学	1前	兵庫県立大学	2								1
	災害と文化	1前	千葉大学	1								3
	災害社会学	2後	高知県立大学	1								1
	災害福祉学	2前	高知県立大学	1								1
Professional writing	2前	高知県立大学	1								2	
Proposal writing (Research proposal writing skill)	2前	東京医科大学	1								3	
Program writing (Program proposal writing skill)	3後	兵庫県立大学	1								1	
災害看護学に関する科目群	災害看護学特論	3前	兵庫県立大学	2			1					4
	災害看護活動論Ⅰ	1前	東京医科大学	2			1	1				1
	災害看護活動論Ⅱ	1前	日本赤十字看護大学	2			1	1				1
	災害看護活動論Ⅲ	1後	千葉大学	2			1	1				1
	災害看護グローバルコーディネーション論	3前	日本赤十字看護大学	1			1					1
	災害国際活動論	3後	日本赤十字看護大学	1			1					1
	災害看護管理・指揮論	3後	高知県立大学	1			1					1
	災害看護倫理	3後	兵庫県立大学	1			1					1
	災害看護理論構築	3後	高知県立大学	2			2					1
	災害看護学演習	災害看護活動論演習Ⅰ	1後	東京医科大学	2			1	1			
災害看護活動論演習Ⅱ		1後	兵庫県立大学	2			1					2
災害時専門職連携演習(災害IP演習)		1後	千葉大学	2			1					6
災害看護グローバルリーダー演習		2前	日本赤十字看護大学	2			1	1				1
インディペンデントスタディ(演習)A		1後	高知県立大学	1			3	1				
インディペンデントスタディ(演習)B		1後	兵庫県立大学	1			3					
インディペンデントスタディ(演習)C		1後	東京医科大学	1			1	1				1
インディペンデントスタディ(演習)D		1後	千葉大学	1			1	1				
インディペンデントスタディ(演習)E		1後	日本赤十字看護大学	1			1	1				
災害看護学実習		災害看護学実習Ⅰ	2前	兵庫県立大学	2			2				
	災害看護学実習Ⅱ	4前	日本赤十字看護大学	2			1	1				
	インディペンデントスタディ(実習)A	1後	高知県立大学	1			1	1				
	インディペンデントスタディ(実習)B	1後	兵庫県立大学	1			2					
	インディペンデントスタディ(実習)C	1後	東京医科大学	1			1	1				
	インディペンデントスタディ(実習)D	1後	千葉大学	1			1	1				
インディペンデントスタディ(実習)E	4前	日本赤十字看護大学	1			1	1					
災害看護学支援科目に関する研究	実践課題レポート	2後	5大学(共同指導)	5			9	3				
	災害看護研究開発プロジェクト	3前	5大学(共同指導)	5			9	3				
	博士論文	5前	5大学(共同指導)	5			9	3				

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
看護学の学問基盤に関する科目	看護研究方法	1前	高知県立大学	2			2	1				1
	理論看護学Ⅰ	1前	千葉大学	2								2
	理論看護学Ⅱ	3前	高知県立大学	2			2					1
	看護倫理	1前	兵庫県立大学	2			1					
	看護情報統計学	1前	東京医科大学	2								3
	保健学的・疫学的研究法	2前	千葉大学	2								1
	看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)	2前	東京医科大学	1								4
	看護研究方法論Ⅱ(エスノグラフィ)	1後	日本赤十字看護大学	1								1
	看護研究方法論Ⅲ(ケーススタディ・アクションリサーチ)	2前	千葉大学	1			1					1
	看護研究方法論Ⅳ(グランデッドセオリー)	1後	東京医科大学	1				1				1
看護研究方法論Ⅴ(現象学的研究方法)	1後	高知県立大学	1			1					1	
看護研究方法論Ⅳ(介入研究・尺度開発)	2前	兵庫県立大学	1								1	
災害グローバルリーダーに必要な学際的な科目群	危機管理論	2前	兵庫県立大学	2								1
	環境防災学	1後	千葉大学	2								2
	グローバルヘルスと政策	2後	東京医科大学	2								5
	専門職連携実践論	1前	千葉大学	2								1
	災害医療学	1前	日本赤十字看護大学	2				1				5
	災害情報学	1前	兵庫県立大学	2								1
	災害心理学	1前	兵庫県立大学	2								1
	災害と文化	1前	千葉大学	1								3
	災害社会学	2後	高知県立大学	1								1
	災害福祉学	2前	高知県立大学	1								1
Professional writing	2前	高知県立大学	1								2	
Proposal writing (Research proposal writing skill)	2前	東京医科大学	1								3	
Program writing (Program proposal writing skill)	3後	兵庫県立大学	1								1	
災害看護学に関する科目群	災害看護学特論	3前	兵庫県立大学	2			1					4
	災害看護活動論Ⅰ	1前	東京医科大学	2			1	1				1
	災害看護活動論Ⅱ	1前	日本赤十字看護大学	2			1	1				1
	災害看護活動論Ⅲ	1後	千葉大学	2			1	1				1
	災害看護グローバルコーディネーション論	3前	日本赤十字看護大学	1			1					1
	災害国際活動論	3後	日本赤十字看護大学	1			1					1
	災害看護管理・指揮論	3後	高知県立大学	1			1					1
	災害看護倫理	3後	兵庫県立大学	1			1					1
	災害看護理論構築	3後	高知県立大学	2			2					1
	災害看護学演習	災害看護活動論演習Ⅰ	1後	東京医科大学	2			1	1			
災害看護活動論演習Ⅱ		1後	兵庫県立大学	2			1	3				2
災害時専門職連携演習(災害IP演習)		1後	千葉大学	2			1					5
災害看護グローバルリーダー演習		2前	日本赤十字看護大学	2			1	1				1
インディペンデントスタディ(演習)A		1後	高知県立大学	1			2	1				
インディペンデントスタディ(演習)B		1後	兵庫県立大学	1			3					
インディペンデントスタディ(演習)C		1後	東京医科大学	1			1	1				1
インディペンデントスタディ(演習)D		1後	千葉大学	1			1	1				
インディペンデントスタディ(演習)E		1後	日本赤十字看護大学	1			1	1				
災害看護学実習		災害看護学実習Ⅰ	2前	兵庫県立大学	2			3	1			
	災害看護学実習Ⅱ	4前	日本赤十字看護大学	2			1	1				
	インディペンデントスタディ(実習)A	1後	高知県立大学	1			2	1				
	インディペンデントスタディ(実習)B	1後	兵庫県立大学	1			2					
	インディペンデントスタディ(実習)C	1後	東京医科大学	1			1	1				
	インディペンデントスタディ(実習)D	1後	千葉大学	1			1	1				
インディペンデントスタディ(実習)E	4前	日本赤十字看護大学	1			1	1					
災害看護学支援科目に関する研究	実践課題レポート	2後	5大学(共同指導)	5			7	4				
	災害看護研究開発プロジェクト	3前	5大学(共同指導)	5			7	4				
	博士論文	5前	5大学(共同指導)	5			7	4				

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

(高知県立大学)

【平成26年度】

・教育上の理由により、「災害看護理論構築」の配当年次を平成26年度から「4前」から「3後」に変更。

【平成27年度】

特になし。

【平成28年度】

特になし。

【平成29年度】

・担当授業の調整に伴い、「インディペンデントスタディ(演習)A」の専任教員の配置を「教授3」から「教授2」に変更。

【平成30年度】

・担当教員の昇任により、「看護研究方法」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当教員の昇任により、「災害看護管理・指揮論」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当教員の昇任により、「インディペンデントスタディ(演習)A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当教員の昇任により、「インディペンデントスタディ(実習)A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当教員の昇任により、「実践課題レポート」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当教員の昇任により、「災害看護研究デベロップメント」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当教員の昇任により、「博士論文」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
・担当教員の退職により、「Professional writing」の兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。

(兵庫県立大学)

【平成26年度】

・教育上の理由により、「災害看護理論構築」の配当年次を「4前」から「3後」に変更。
・専任教員辞退及び授業担当教員の追加により、「災害看護活動論演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」「兼2」に変更。

【平成27年度】

特になし。

【平成28年度】

・担当教員の退職により、「危機管理論」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。

【平成29年度】

・専任教員の退職により、「災害看護倫理」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
・専任教員の退職により、「災害看護理論構築」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
・担当教員の異動により、「災害看護活動論演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
・担当教員の異動により、「災害看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」に変更。

【平成30年度】

・専任教員の退職により、「災害看護学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「兼1」に変更。
・専任教員の退職により、「災害看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。

(東京医科歯科大学)

【平成26年度】

・「災害看護活動論Ⅰ」の授業担当教員の追加により、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に、兼任教員を「3」から「4」に変更
・「災害看護活動論演習Ⅰ」の授業担当教員の追加により、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更

【平成27年度】

・「看護研究方法Ⅰ(国際比較研究)」の授業担当教員の追加により、兼任教員を「2」から「3」に変更
・「グローバルヘルスと政策」の授業担当教員の異動に伴う教員配置の変更により、兼任教員を「6」から「5」に変更
・「Proposal writing (Research proposal writing skill)」の授業担当教員の追加により、兼任教員を「2」から「3」に変更
・「災害看護活動論演習Ⅰ」の授業担当教員の追加により、兼任教員を「3」から「4」に変更
・「インディペンデントスタディ(演習)C」の授業担当教員の追加により、兼任教員を「0」から「1」に変更
・「実践課題レポート」「災害看護研究デベロップメント」「博士論文」の授業担当教員の異動に伴う教員配置の変更により、「准教授2」「講師1」から「准教授3(講師0)」に変更

【平成28年度】

・「看護研究方法Ⅰ(国際比較研究)」の授業担当教員の異動に伴う教員配置の変更により、兼任教員を「3」から「2」に変更
・「看護研究方法Ⅳ(グランデッドセオリー)」の授業担当教員の異動に伴う教員配置の変更により、専任教員等の配置を「准教授1」に、兼任教員を「4」から「2」に変更
・「災害看護活動論Ⅰ」の授業担当教員の異動に伴う教員配置の変更により、兼任教員を「5」から「4」に変更

【平成29年度】

・「看護研究方法Ⅰ(国際比較研究)」の授業担当教員の変更により、兼任教員を「2」から「4」に変更
・「看護研究方法Ⅳ(グランデッドセオリー)」の授業担当教員の変更により、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に、兼任教員を「2」から「1」に変更
・「災害看護活動論演習Ⅰ」の授業担当教員の変更により、兼任教員を「4」から「3」に変更
・「インディペンデントスタディ(演習)C」の授業担当教員の変更により、兼任教員を「1」から「0」に変更
・「実践課題レポート」「災害看護研究デベロップメント」「博士論文」の授業担当教員の異動、昇任に伴う変更により、「教授9」「准教授3」を「教授7」「准教授4」に変更

【平成30年度】

・「グローバルヘルスと政策」の授業担当教員の退職により、「准教授0」を「准教授1」に変更
・「グローバルヘルスと政策」の授業内容強化のため、兼任教員を「5」から「6」に変更
・「災害看護活動論演習Ⅰ」の授業内容強化のため、兼任教員を「3」から「5」に変更

(千葉大学)

【平成26年度】

・兼任教員の異動に伴い「災害と文化」の「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。

【平成27年度】

・専任教員の辞職により、「災害看護活動論Ⅲ」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
 ・専任教員の辞職により、「災害時専門職連携演習(災害IP演習)」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
 ・専任教員の辞職により、「インディペンデントスタディ(演習)D」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
 ・専任教員の辞職により、「インディペンデントスタディ(実習)D」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
 ・科目の充実を図るため、「災害時専門職連携演習(災害IP演習)」専任教員等の配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任7」に変更。

【平成28年度】

・兼任教員の辞職により、「災害時専門職連携演習(災害IP演習)」専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」に変更。
 ・兼任教員の定年退職により、「危機管理論」専任教員等の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任1」に変更。

【平成29年度】

・兼任教員の辞職により、「災害時専門職連携演習(災害IP演習)」専任教員等の配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任5」に変更。
 ・科目の充実を図るため、「インディペンデントスタディ(実習)D」専任教員等の配置を「教授1」を追加。
 ・教育担当変更により、「災害時専門職連携演習(災害IP演習)」専任教員等の配置を「准教授1」を削除。

【平成30年度】

・兼任教員の辞職及び教育担当変更により、「災害時専門職連携演習(災害IP演習)」専任教員等の配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任3」に変更。

(日本赤十字看護大学)

【平成26年度】

特になし。

【平成27年度】

・担当教員の異動に伴う教員配置の変更の理由により、「実践課題レポート」、「災害看護研究デベロップメント」、「博士論文」の専任教員等の配置を「教授9」、「准教授2」、「講師1」から「教授9」、「准教授3」に変更。

【平成28年度】

・博士号取得教員の担当授業充実の理由により、当該教員を「災害看護活動論Ⅱ」に追加配置し、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」、「講師1」に変更。
 ・担当授業の調整に伴う教員配置の変更の理由により、「災害看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」、「講師1」から「教授1」、「講師1」に変更。

【平成29年度】

・授業充実の理由により、「災害医療学」の専任教員等の配置に「教授1」を追加。
 ・担当教員の講師から准教授への昇任の理由により、「災害看護活動論Ⅱ」、「災害看護グローバルリーダー演習」、「インディペンデントスタディ(演習)E」、「災害看護学実習Ⅱ」、「インディペンデントスタディ(実習)E」の専任教員等の配置を「教授1」、「講師1」から「教授1」、「准教授1」に変更。
 ・担当教員の異動、昇任に伴う変更の理由により、「実践課題レポート」、「災害看護研究デベロップメント」、「博士論文」の専任教員等の配置を「教授9」、「准教授3」から「教授7」、「准教授4」に変更。

【平成30年度】

・担当教員の異動、昇任に伴う変更の理由により、「実践課題レポート」、「災害看護研究デベロップメント」の専任教員等の配置を「教授7」、「准教授4」から「教授8」、「准教授4」に変更。
 ・担当教員の異動、昇任に伴う変更の理由により、「博士論文」の専任教員等の配置を「教授7」、「准教授4」から「教授8」、「准教授3」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。
 ・ 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

大学名	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
高知 県立大学	6 科目	8 科目	0 科目	14 科目	6 科目 [0]	8 科目 [0]	0 科目 [0]	14 科目 [0]	
兵庫 県立大学	8 科目	8 科目	0 科目	16 科目	8 科目 []	8 科目 []	0 科目 []	16 科目 []	
東京医科 歯科大学	5 科目	7 科目	0 科目	12 科目	5 科目 [0]	7 科目 [0]	0 科目 [0]	12 科目 [0]	
千葉 大学	5 科目	8 科目	0 科目	13 科目	5 科目 [0]	8 科目 [0]	0 科目 [0]	13 科目 [0]	
日本赤十字 看護大学	5 科目	7 科目	0 科目	12 科目	5 科目 []	7 科目 []	0 科目 []	12 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
高知県立大学	1						
	2						
	3						
兵庫県立大学	1						
	2						
	3						
東京医科歯科大学	1						
	2						
	3						
千葉大学	1						
	2						
	3						
日本赤十字看護大学	1						
	2						
	3						

該当なし

- (注) ・ 授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
高知県立大学	1						
	2						
	3						
兵庫県立大学	1						
	2						
	3						
東京医科歯科大学	1						
	2						
	3						
千葉大学	1						
	2						
	3						
日本赤十字看護大学	1						
	2						
	3						

該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p style="font-size: 1.2em;">該当なし</p> </div>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(高知県立大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{14} = \boxed{}\%$$

(兵庫県立大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{16} = \boxed{}\%$$

(東京医科歯科大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{12} = \boxed{}\%$$

(千葉大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{13} = \boxed{}\%$$

(日本赤十字看護大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{12} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

(高知県立大学)

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	31,536㎡	0㎡	0㎡	31,536㎡			
	運動場用地	9,620㎡	0㎡	0㎡	9,620㎡			
	小 計	41,206㎡	0㎡	0㎡	41,206㎡			
	そ の 他	33,296㎡	0㎡	0㎡	33,296㎡			
	合 計	74,502㎡	0㎡	0㎡	74,502㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		23,980.33㎡ (㎡)	0㎡ (㎡)	0㎡ (㎡)	23,980.33㎡ (㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	47室	63室	49室	2室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		看護学研究科共同災害看護学専攻		4 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	大学全体	189,045 [32,967] (189,045 [32,967])	2,572 [399] (2,572 [399])	2 [2] (2 [2])	4,118 (4,118)	3,814 (3,814)	64 (64)	
	計	189,045 [32,967] (189,045 [32,967])	2,572 [399] (2,572 [399])	2 [2] (2 [2])	4,118 (4,118)	3,814 (3,814)	64 (64)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	2,615.48㎡		212席		290,972冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	3337.16㎡							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	1,300千円	1,300千円	図書購入費	2,000千円	1,000千円	1,000千円
	共同研究費等	10,000千円	10,000千円	設備購入費	26,191千円	25,000千円	0千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		536千円	536千円	536千円	536千円	536千円	一千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		研究拠点形成費等補助金(リーディング大学院構築事業費)						

(兵庫県立大学)

区 分		内 容				備 考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	*大学全体 借用面積： ①3,999.93㎡ ②15,949.94㎡ ③1,563.10㎡ *借用期間： ①1年間（H41.10.31まで1年毎に自動更新） ②10年間（10年毎に自動更新） ③初回16カ月間（以後1年毎に自動更新）（徒歩〇分） 兵庫県立淡路景観園芸学校（収容定員65名、募集例に基づいて設置しており面積基準なし）と共用				
	校舎敷地	329,798.28㎡ 330,272.16㎡	17,646.61㎡ 17,172.73㎡	0.00㎡	347,444.89㎡					
	運動場用地	79,775.50㎡	0.00㎡	0.00㎡	79,775.50㎡					
	小 計	409,573.78㎡ 410,047.66㎡	17,646.61㎡ 17,172.73㎡	0.00㎡	427,220.39㎡					
	そ の 他	361,067.13㎡	112,635.88㎡	0.00㎡	473,703.01㎡					
	合 計	770,640.91㎡ 771,114.79㎡	130,282.49㎡ 129,808.61㎡	0.00㎡	900,923.40㎡					
(2) 校 舎	専 用	150,955.58㎡ 145,031.87㎡	11,734.05㎡ 10,747.35㎡	288.00㎡	162,977.63㎡ 156,067.22㎡	姫路工学キャンパスの整備等 (30)				
		(150,955.58㎡) (145,031.87㎡)	(11,734.05㎡) (10,747.35㎡)	(288.00㎡)	(162,977.63㎡) (156,067.22㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	8室	演 習 室	5室	実験実習室	5室	情報処理学習施設	3室 (補助職員 0人)	語学学習施設	1室 (補助職員 0人)
	専任教員研究室	新設学部等の名称 看護学研究科 共同災害看護学専攻			室 数 3 室					
(5) 新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	購入、廃棄等のため (28) 購入、廃棄等のため (29) 購入、廃棄等のため (30)			
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点				
	81,527 [17,427]	1,083 [237]	2 [2]	1,974	180	0				
図書・設備 看護学研究科 共同災害看護学 専攻	80,983 [17,213] 81,527 [17,427] (75,088 [15,770]) (75,632 [15,984]) (74,731 [15,921]) (74,990 [15,886]) (73,936 [15,783])	1,043 [234] 1,083 [237] (929 [205]) (972 [208]) (1,034 [217]) (990 [210])	2 [2] (0 [0])	1,998 1,974 (1,909) (1,885) (1,844) (1,898) (1,956)	180	0				
	80,983 [17,213] 81,527 [17,427] (75,088 [15,770]) (75,632 [15,984]) (74,731 [15,921]) (74,990 [15,886]) (73,936 [15,783])	1,043 [234] 1,083 [237] (929 [205]) (972 [208]) (1,034 [217]) (990 [210])	2 [2] (0 [0])	1,998 1,974 (1,909) (1,885) (1,844) (1,898) (1,956)	180	0				
	80,983 [17,213] 81,527 [17,427] (75,088 [15,770]) (75,632 [15,984]) (74,731 [15,921]) (74,990 [15,886]) (73,936 [15,783])	1,043 [234] 1,083 [237] (929 [205]) (972 [208]) (1,034 [217]) (990 [210])	2 [2] (0 [0])	1,998 1,974 (1,909) (1,885) (1,844) (1,898) (1,956)	180	0				
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数						
	839.0㎡	114席		47,000冊						
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要								
	1,687㎡	-								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
	教員1人当り研究費等	413千円	413千円	図書購入費	1,849千円	300千円	790千円			
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	10,410千円	19,416千円	3,782千円			
	学生1人当り納付金	第1年次 535千円	第2年次 535千円	第3年次 535千円	第4年次 535千円	第5年次 535千円	第6年次 — 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		研究拠点形成費等補助金（リーディング大学院構築事業費）								

(東京医科歯科大学)

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	土地売却のため(29)		
	校舎敷地	77,695 m ²	0 m ²	0 m ²	77,695 m ²			
	運動場用地	19,972 m ²	0 m ²	0 m ²	19,972 m ²			
	小 計	97,667 m ²	0 m ²	0 m ²	97,667 m ²			
	そ の 他	13,929 14,332	0 m ²	0 m ²	13,929 14,332			
	合 計	111,596 111,999	0 m ²	0 m ²	111,596 111,999			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		125,398 m ² (125,398 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	125,398 m ² (125,398 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	83 室	52 室	556 室	2 室 (補助職員 0 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		共同災害看護学専攻		2 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本	専攻単位での特定不能なため、申請大学全体の数 図書は重複資料等の整理を行ったため減っている。 学術雑誌は和雑誌が1減、洋雑誌が2贈と なっている。 視聴覚資料は増加させている (30)	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕					電子ジャーナル
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	共同災害看護学専攻	317,937 [139,687] 322,450 [142,501] 299,009 [134,119]	3,721 [2,062] 3,720 [2,060] 3,801 [2,102]	8,391 [7,100] 7,389 [6,332] 9,796 [8,818]	1,449 1,405 934	497		55,862
	計	317,937 [139,687] 322,450 [142,501] 299,009 [134,119]	3,721 [2,062] 3,720 [2,060] 3,801 [2,102]	8,391 [7,100] 7,389 [6,332] 9,796 [8,818]	1,449 1,405 934	497		55,862
		317,937 [139,687] 322,450 [142,501] 299,009 [134,119]	257 [90] 3,720 [2,060] 3,801 [2,102]	8,391 [7,100] 7,389 [6,332] 9,796 [8,818]	1,449 1,405 934	(497)		(55,862)
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 図書館改修のため(29)	
	5,513 5,677m ²		433 426		377,000 383,000			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	1,662 m ²		テニスコート、プール、武道館、柔剣道場、弓道場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		該当なし						

(千葉大学)

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	511,671 m ²	m ²	m ²	511,671 m ²			
	運 動 場 用 地	88,021 m ² 97,665 m ²	m ²	m ²	88,021 m ² 97,665 m ²			
	小 計	599,692 m ² 609,336 m ²	m ²	m ²	599,692 m ² 609,336 m ²			
	そ の 他	664,070 m ² 656,120 m ²	m ²	m ²	664,070 m ² 656,120 m ²			
	合 計	1,263,762 m ² 1,265,456 m ²	m ²	m ²	1,263,762 m ² 1,265,456 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	工学部校舎の取消のため (28)			
	301,736 m ² 304,058 m ² 308,093 m ² (301,736 m ²) (304,058 m ²) (308,093 m ²)	m ²	m ²	301,736 m ² 304,058 m ² 308,093 m ² (301,736 m ²) (304,058 m ²) (308,093 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	(補助職員 1人) (補助職員 1人)		
	4室	11室	14室	1室	1室			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	看護学研究科 共同災害看護学専攻			2 室				
(5) 新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本	購入、廃棄等のため (28) 購入、廃棄等のため (29) 購入、廃棄等のため (30) 大学全体	
	[うち外国書]	[うち外国書]	[うち外国書]	点	点	点		
	冊	種	種					
	1,363,048 [485,184] 1,375,004 [519,920] 1,389,523 [525,276] 1,396,387 [438,442] 1,387,522 [527,465] (1,363,048 [485,184]) (1,375,004 [519,920]) (1,389,523 [525,276]) (1,396,387 [438,442]) (1,387,522 [527,465])	25,515 [9,872] 25,491 [10,186] 25,397 [10,200] 24,270 [9,884] 24,198 [9,859] (25,515 [9,872]) (25,491 [10,186]) (25,397 [10,200]) (24,270 [9,884]) (24,198 [9,859])	23,620 [21,983] 23,389 [21,369] 22,774 [20,803] 22,480 [20,579] 21,952 [20,266] (23,620 [21,983]) (23,389 [21,369]) (22,774 [20,803]) (22,480 [20,579]) (21,952 [20,266])	5,355 5,318 5,257 4,981 4,921 (5,355) (5,318) (5,257) (4,981) (4,921)	10,613 10,244 9,932 9,529 9,155 (10,613) (10,244) (9,932) (9,529) (9,155)	134 133 134 (134) (133) (134)		
看護学研究科 共同災害看護学 専攻								
計								
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		座席および書庫の増設 のため (28) H24亥鼻分館改修によ る面積増加のため、配 置変更のため (29) 座席および書庫の増設 のため (30)	
	20,779m ² 20,601m ² 20,050m ²		1,905席 1,876席 1,822席 1,162席		1,517,972 1,513,167 1,425,000			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	5,018m ² 5,740m ²		サッカー場、野球場、テニスコート、武道場、弓道場					
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(日本赤十字看護大学)

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	キャンパス縮小のため (28)		
	校舎敷地	18,216.43 m ² 25,693.06 m²	m ²	m ²	18,216.43 m ² 25,693.06 m²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	18,216.43 m ² 25,693.06 m²	m ²	m ²	18,216.43 m ² 25,693.06 m²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	18,216.43 m ² 25,693.06 m²	m ²	m ²	18,216.43 m ² 25,693.06 m²			
(2) 校 舎	専 用	14,962.45 m ² 14,862.45 m² 20,239.63 m²	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	キャンパス縮小のため (28) 前年度計上誤りのため (30)		
	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	キャンパス縮小のため (28)		
	17 室 25 室	7 室 11 室	5 室 9 室	2 室 3 室 (補助職員 人)	1 室 2 室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		キャンパス縮小のため (28)		
	看護学研究科共同災害看護学専攻			57 59 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	大学全体	145,349 [18,303] (97,886 [15,014]) (96,370 [14,874]) (94,876 [14,758]) (144,557 [18,504])	342 [81] (177 [43]) (222 [52]) (222 [52]) (335 [79])	58 [58] (67 [67]) (72 [72]) (72 [72]) (60 [60])	3,747 (2,728) (2,684) (2,621) (3,890)	92 (102)	92 (92)	購入・廃棄等のため (28) (29) (30)
計	145,349 [18,303] (97,886 [15,014]) (96,370 [14,874]) (94,876 [14,758]) (144,557 [18,504])	342 [81] (177 [43]) (222 [52]) (222 [52]) (335 [79])	58 [58] (67 [67]) (72 [72]) (72 [72]) (60 [60])	3,747 (2,728) (2,684) (2,621) (3,890)	92 (102)	92 (92)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		キャンパス縮小のため (28) スペース活用による座席 数増 (30)	
	1,096.23 m ² 1,527.93 m²		130 席 121 席 176 席		136,950 冊 185,972 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				記載漏れ修正のため (28)	
	732.94m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	11,500千円	5,000千円	0千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
学生納付金以外の維持方法の概要		研究拠点形成費等補助金 (リーディング大学院構築事業費)						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の2)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

(高知県立大学)

大学の名称	高知県立大学						備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
文化学部文化学科	4	150	3年次 8人	530	学士(文学)	1.04	平成10年度	高知市永国寺町5番15号	
看護学部看護学科	4	80	—	320	学士(看護学)	1.04	平成10年度	高知市池2751番地1	
社会福祉学部社会福祉学科	4	70	—	280	学士(社会福祉学)	1.05	平成10年度	高知市池2751番地1	
健康栄養学部健康栄養学科	4	40	—	160	学士(健康栄養学)	1.05	平成10年度	高知市池2751番地1	
大学院									
看護学研究科									
看護学専攻(博士前期課程)	2	15	—	30	修士(看護学)	1.07	平成10年度	高知市池2751番地1	
看護学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(看護学)	2.00	平成26年度	高知市池2751番地1	
共同設置看護学専攻(博士課程)	5	2	—	8	博士(看護学)	1.00	平成26年度	高知市池2751番地1	
人間生活学研究科									
人間生活学専攻(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(生活科学、社会福祉学、学術)	0.56	平成13年度	高知市池2751番地1	
人間生活学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(生活科学、社会福祉学、学術)	0.56	平成26年度	高知市池2751番地1	
健康生活科学研究科									
健康生活科学専攻(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(看護学、生活科学、社会福祉学)	—	平成13年度	高知市池2751番地1	平成26年より募集停止

(兵庫県立大学)

大学の名称	兵庫県立大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
経済学部									
国際経済学科	4	100	0	400	学士(経済学)	1.04	平成16年度	神戸市西区学園西町8丁目2番地の1	
応用経済学科	4	100	0	400	学士(経済学)	1.04	平成16年度	同上	
経営学部									
組織経営学科	4	130	0	520	学士(経営学)	1.01	平成16年度	神戸市西区学園西町8丁目2番地の1	
事業創造学科	4	100	0	400	学士(経営学)	1.01	平成16年度	同上	
工学部									
電気電子情報工学科	4	126	0	504	学士(工学)	1.04	平成16年度	姫路市書写2167番地	
機械・材料工学科	4	126	0	504	学士(工学)	1.03	平成16年度	同上	
応用化学工学科	4	100	0	400	学士(工学)	1.05	平成16年度	同上	
理学部									
物質科学科	4	90	0	360	学士(理学)	1.08	平成16年度	(2-4年次) 赤穂郡上郡光明町3丁目2番1号	(1年次) 姫路市書写2167番地
生命科学科	4	85	0	340	学士(理学)	1.01	平成16年度	同上	
環境人間学部									
環境人間学科	4	205	0	810	学士(環境人間学)	1.05	平成16年度	(2-4年次) 姫路市新在家本町1丁目1番12号	(1年次) 姫路市書写2167番地
看護学部									
看護学科	4	105	0	415	学士(看護学)	1.00	平成16年度	(2-4年次) 明石市北王子町13番71号	(1年次) 神戸市西区学園西町8丁目2番地の1
経済学研究科									
経済学専攻 (博士前期課程)	2	10	0	20	修士(経済学)	0.80	平成16年度	神戸市西区学園西町8丁目2番地の1	
経済学専攻 (博士後期課程)	3	5	0	15	博士(経済学)	0.20	平成16年度	同上	
地域公共政策専攻 (博士前期課程)	2	10	0	20	修士(経済学)	1.00	平成23年度	神戸市西区学園西町8丁目2番地の1	
経営学研究科									
経営学専攻 (博士後期課程)	3	6	0	18	博士(経営学)	0.58	平成16年度	神戸市西区学園西町8丁目2番地の1	
工学研究科								姫路市書写2167番地	
電気系工学専攻 (博士前期課程)	—	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成27年より学生募集停止
電気系工学専攻 (博士後期課程)	—	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成27年より学生募集停止
機械系工学専攻 (博士前期課程)	—	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成27年より学生募集停止
機械系工学専攻 (博士後期課程)	—	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成27年より学生募集停止
物質系工学専攻 (博士前期課程)	—	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成27年より学生募集停止
物質系工学専攻 (博士後期課程)	—	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成27年より学生募集停止
工学研究科									
電気物性工学専攻 (博士前期課程)	2	25	0	42	修士(工学)	0.98	平成27年度	姫路市書写2167番地	
電気物性工学専攻 (博士後期課程)	3	3	0	11	博士(工学)	0.08	平成27年度	同上	
電子情報工学専攻 (博士前期課程)	2	25	0	43	修士(工学)	1.14	平成27年度	同上	
電子情報工学専攻 (博士後期課程)	3	4	0	14	博士(工学)	0.30	平成27年度	同上	
機械工学専攻 (博士前期課程)	2	25	0	42	修士(工学)	1.38	平成27年度	同上	
機械工学専攻 (博士後期課程)	3	3	0	11	博士(工学)	0.14	平成27年度	同上	
材料・放射光工学専攻 (博士前期課程)	2	25	0	43	修士(工学)	0.88	平成27年度	同上	
材料・放射光工学専攻 (博士後期課程)	3	4	0	14	博士(工学)	0.26	平成27年度	同上	
応用化学専攻 (博士前期課程)	2	25	0	40	修士(工学)	1.04	平成27年度	同上	
応用化学専攻 (博士後期課程)	3	3	0	11	博士(工学)	0.14	平成27年度	同上	

化学工学専攻 (博士前期課程)	2	25	0	40	修士(工学)	1.14	平成27年度	同上
化学工学専攻 (博士後期課程)	3	3	0	9	博士(工学)	0.16	平成27年度	同上
物質理学研究科 物質科学専攻 (博士前期課程)	2	32	0	64	修士(理学)	0.96	平成16年度	赤穂郡上郡町光都3丁目2番1号
物質科学専攻 (博士後期課程)	3	11	0	33	博士(理学)	0.09	平成16年度	同上
生命理学研究科 生命科学専攻 (博士前期課程)	2	17	0	34	修士(理学)	1.14	平成16年度	赤穂郡上郡町光都3丁目2番1号
生命科学専攻 (博士後期課程)	3	3	0	9	博士(理学)	0.66	平成16年度	同上
ヒコバイロソロジー専攻 (一貫制博士課程)	5	8	2	46	博士(理学)	0.37	平成25年度	同上
環境人間学研究科 環境人間学専攻 (博士前期課程)	2	30	0	60	修士(環境人間学)	0.33	平成16年度	姫路市新在家本町1丁目1番12号
環境人間学専攻 (博士後期課程)	3	6	0	18	博士(環境人間学)	0.53	平成16年度	同上
看護学研究科 看護学専攻 (博士前期課程)	2	25	0	50	修士(看護学)	0.58	平成16年度	明石市北王子町13番71号
看護学専攻 (博士後期課程)	3	4	0	12	博士(看護学)	0.62	平成16年度	同上
共同災害看護学専攻 (一貫制博士課程)	5	2	0	8	博士(看護学)	0.80	平成26年度	同上
応用情報科学研究科 応用情報科学専攻 (博士前期課程)	2	40	0	80	修士(応用情報科学)	1.03	平成16年度	神戸市中央区港島南町7丁目1番28号
応用情報科学専攻 (博士後期課程)	3	10	0	30	博士(応用情報科学)	0.72	平成18年度	同上
シミュレーション学研究科 シミュレーション学専攻 (博士前期課程)	2	20	0	40	修士(シミュレーション学)	0.77	平成23年度	神戸市中央区港島南町7丁目1番28号
シミュレーション学専攻 (博士後期課程)	3	4	0	12	博士(シミュレーション学)	0.56	平成26年度	同上
地域資源マネジメント研究科 地域資源マネジメント専攻 (博士前期課程)	2	12	0	24	修士(学術)	0.79	平成26年度	豊岡市祥雲寺字ニヶ谷128
地域資源マネジメント専攻 (博士後期課程)	3	2	0	6	博士(学術)	0.75	平成28年度	同上
減災復興政策研究科 減災復興政策専攻 (修士課程)	2	12	0	12	修士(学術)	1.12	平成29年度	神戸市中央区港島南町1-5-1人と自然共生センター(仮称)
会計研究科 会計専門職専攻 (専門職学位課程)	2	40	0	80	会計修士(専門職)	0.73	平成19年度	神戸市西区学園西町8丁目2番地の1
経営研究科 経営専門職専攻 (専門職学位課程)	2	45	0	90	経営管理修士(専門職) MBA/MPA/マネジメント修士(専門職)	1.03	平成22年度	神戸市西区学園西町8丁目2番地の1
緑環境景観マネジメント研究科 緑環境景観マネジメント専攻 (専門職学位課程)	2	20	0	40	緑環境景観マネジメント修士(専門職)	0.80	平成21年度	淡路市野島常盤954番地の2

(東京医科歯科大学)

東京医科歯科大学										備考
大学の名称	既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
	医歯学総合研究科 (修士課程) <u>医歯理工保健学専攻</u>	2	131	—	257	修士 (医科学) (歯科学) (理学) (工学) (保健学) (口腔保健学) (医療管理学) (医療政策学) (グローバル健康医学)	0.95	H30年度	東京都文京区湯島1 -5-45	
	<u>医歯理工学専攻</u>	—	—	—	—	修士 (医科学) (歯科学) (理学) (工学) (口腔保健学) (医療管理学) (医療政策学)	—	H24年度		平成30年度より学生募集停止
	(博士課程)									
	<u>医歯学専攻</u>	4	181	—	740	博士 (医学) (歯学) (数理医科学) (学術)	1.13	H30年度		
	<u>生命理工医療科学専攻</u>	3	25	—	75	博士 (理学) (工学) (保健学)	0.88	H30年度		平成30年度より学生募集停止
	<u>医歯学系専攻</u>	4	—	—	—	博士 (医学) (歯学) (学術)	—	H24年度		平成30年度より学生募集停止
	<u>生命理工学系専攻</u>	3	—	—	—	博士 (理学) (工学)	—	H24年度		
	<u>口腔機能再構築学系専攻</u>	4	—	—	—	博士 (医学) (歯学) (学術)	—	H12年度		平成24年度より学生募集停止

顎顔面頸部機能 再建学系専攻	4	—	—	—	—	—	—	—	H11年度	平成24年度より学 生募集停止
生体支持組織学 系専攻	4	—	—	—	—	—	—	—	H12年度	平成24年度より学 生募集停止
環境社会医歯学 系専攻	4	—	—	—	—	—	—	—	H12年度	平成24年度より学 生募集停止
老化制御学系専 攻	4	—	—	—	—	—	—	—	H12年度	平成24年度より学 生募集停止
全人的医療開発 学系専攻	4	—	—	—	—	—	—	—	H11年度	平成24年度より学 生募集停止
生体環境応答学 系専攻	4	—	—	—	—	—	—	—	H12年度	平成24年度より学 生募集停止
器官システム制 御学系専攻	4	—	—	—	—	—	—	—	H12年度	平成24年度より学 生募集停止
先端医療開発学 系専攻	4	—	—	—	—	—	—	—	H12年度	平成24年度より学 生募集停止
東京医科歯科大 学・チリ大学国 際連携医学系専 攻	5	3	—	—	6	—	—	0.33	H28年度	
東京医科歯科大 学・チュラロン コーン大学国際 連携歯学系専攻	5	3	—	—	6	—	—	0.66	H28年度	
保健衛生学研究科 (博士課程(前期)) 生体検査科学専 攻	2	—	—	—	—	—	—	—	H13年度	平成30年度より学 生募集停止
(博士課程(後期)) 総合保健看護学 専攻	3	—	—	—	—	—	—	—	H13年度	平成28年度より学 生募集停止
生体検査科学専 攻	3	—	—	—	—	—	—	—	H13年度	平成30年度より学 生募集停止
(博士課程) 看護先進科学専 攻	5	13	—	—	52	—	—	1.01	H26年度	
共同災害看護学 専攻	5	2	—	—	8	—	—	1.10	H26年度	
大学の名称	東京医科歯科大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員 定 員	編入学 員 定 員	収 容 員 定 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		
医学部	年	人	年次 人	人		倍		東京都文京区湯島1 -5-45		
医学科	6	101	5	630	学士 (医学)	1.00	S26年度			
保健衛生学科	4	90		360	学士 (看護学) (保健学)	1.01	H元年度			
歯学部	6	53	2年次	318	学士 (歯学)	1.00	S26年度			
歯学科	4	32	2年次 3年次 6	5 155	学士 (口腔保健 学)	1.03	H16年度			

(千葉大学)

大学の名称		千葉大学						備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
【学部】									
国際教養学部									
国際教養学科	4	90	-	270	学士 (国際教養学)	1.02	平成28年度	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	
文学部									
人文学科	4	170	3年次10	520	学士 (文学)	1.03	平成28年度	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	
行動科学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	昭和56年度	同上	行動科学科、史学科、日本文化学科、国際言語文化学科は、平成28年度より学生募集停止。
史学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	昭和56年度	同上	
日本文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成6年度	同上	
国際言語文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	平成6年度	同上	
法政経学部									
法政経学科	4	370	-	1480	学士 (法学、経)	1.02	平成26年度	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	
法経学部									
法学科	4	-	-	-	学士 (法学)	-	昭和56年度	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	法学科、経済学科、総合政策学科は、平成26年度より学生募集停止。
経済学科	4	-	-	-	学士 (経済学)	-	昭和56年度	同上	
総合政策学科	4	-	-	-	学士 (総合政策)	-	平成11年度	同上	
教育学部									
小学校教員養成課程	4	245	-	980	学士 (教育学)	1.02	昭和25年度	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	
中学校教員養成課程	4	85	-	355	学士 (教育学)	1.03	昭和40年度	同上	
特別支援教育教員養成課程	4	20	-	80	学士 (教育学)	1.02	平成20年度	同上	
幼稚園教員養成課程	4	20	-	80	学士 (教育学)	1.02	昭和43年度	同上	
養護教諭養成課程	4	35	-	140	学士 (教育学)	1.01	昭和51年度	同上	
スポーツ科学課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成6年度	同上	スポーツ科学課程、生涯教育課程は、平成28年度より学生募集停止。
生涯教育課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成11年度	同上	
理学部									
数学・情報数理学科	4	44	-	177	学士 (理学)	1.04	平成6年度	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	
物理学科	4	39	-	157	学士 (理学)	1.06	昭和43年度	同上	
化学科	4	39	-	157	学士 (理学)	1.06	昭和43年度	同上	
生物学科	4	39	-	157	学士 (理学)	1.03	昭和43年度	同上	
地球科学科	4	39	-	162	学士 (理学)	1.05	平成6年度	同上	
工学部			3年次						
総合工学科	4	620	-	1240	学士 (工学)	1.03	平成29年度	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	
都市環境システム学科	4	-	45	90	学士 (工学)	-	平成20年度	同上	都市環境システム学科、建築学科、デザイン学科、機械工学科、メディカルシステム工学科、電気電子工学科、ナノサイエンス学科、共生応用化学科、情報画像学科は、3年次編入を除き、平成29年度より学生募集停止。
建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20年度	同上	
デザイン学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20年度	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20年度	同上	
メディカルシステム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20年度	同上	
電気電子工学科	4	-	65	130	学士 (工学)	-	平成20年度	同上	
ナノサイエンス学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20年度	同上	
共生応用化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20年度	同上	
画像科学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20年度	同上	
情報画像学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成20年度	同上	
デザイン工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成10年度	同上	デザイン工学科は、平成20年度より学生募集停止。
園芸学部									
園芸学科	4	64	-	260	学士 (農学)	1.02	平成19年度	千葉県松戸市松戸648番地	
応用生命化学科	4	31	-	125	学士 (農学)	1.06	平成19年度	同上	
緑地環境学科	4	66	-	268	学士 (農学)	1.04	平成19年度	同上	
食料資源経済学科	4	29	-	117	学士 (農学)	1.04	平成19年度	同上	
医学部									
医学科	6	117	3年次5	722	学士 (医学)	1.00	昭和24年度	千葉県千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号	17名は平成31年度までの措置。
薬学部									

薬学科	6	40	-	240	学士 (薬学)	1.07	平成18年度	千葉県千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号	2学科一括募集
薬科学科	4	40	-	160	学士 (薬科学)		平成18年度	同上	
看護学部									
看護学科	4	80	3年次 10	340	学士 (看護学)	1.03	昭和50年度	千葉県千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号	
【大学院】 人文公共学府〔博士前期〕									
人文科学専攻	2	38	-	76	修士 (文学)	1.02	平成29年度	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	
公共社会科学専攻	2	10	-	20	修士 (経済学) (経営学) (政治学) (公共学)	0.95	平成29年度	同上	
人文公共学府〔博士後期〕									
人文公共学専攻	3	15	-	30	博士 (文学) (法学) (経済学) (公共学)	0.86	平成29年度	同上	
人文社会科学研究科 〔博士前期〕									
地域文化形成専攻	2	-	-	-	修士 (文学)	-	平成18年度	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	地域文化形成専攻、公共研究専攻、社会科学研究専攻、総合文化研究専攻、先端経営科学専攻は、平成29年度より学生募集停止。
公共研究専攻	2	-	-	-	修士 (文学) (法学) (経済学) (経営学) (政治学) (公共学)	-	平成18年度	同上	
社会科学研究専攻	2	-	-	-	修士 (法学) (経済学)	-	平成18年度	同上	
総合文化研究専攻	2	-	-	-	修士 (文学)	-	平成18年度	同上	
先端経営科学専攻	2	-	-	-	修士 (法学) (経済学) (経営学) (政治学)	-	平成18年度	同上	
人文社会科学研究科 〔博士後期〕									
公共研究専攻	3	-	-	-	博士 (文学) (法学) (経済学) (経営学) (政治学) (公共学)	-	平成18年度	同上	公共研究専攻、社会科学研究専攻、文化科学研究専攻は、平成29年度より学生募集停止。
社会科学研究専攻	3	-	-	-	博士 (文学) (法学) (経済学) (経営学) (政治学)	-	平成18年度	同上	
文化科学研究専攻	3	-	-	-	博士 (文学)	-	平成18年度	同上	
専門法務研究科 〔専門職学位〕									
法務専攻	2	40	-	120	法務博士 (専門職) 法務博士 (専門職)	0.44	平成16年度	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	
教育学研究科 〔修士〕									
学校教育学専攻	2	59	-	118	修士 (教育学)	1.18	平成28年度	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	学校教育科学専攻、教科教育科学専攻は、平成28年度より学生募集停止。
学校教育科学専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	平成23年度	同上	
教科教育科学専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	平成23年度	同上	
学校教育臨床専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	平成11年度	同上	学校教育臨床専攻は、平成23年度より学生募集停止。
教育学研究科 〔専門職学位〕									
高度教職実践専攻	2	20	-	40	教職修士 (専門職)	1.17	平成28年度	同上	
融合理工学府 〔博士前期〕									
数学情報科学専攻	2	74	-	148	修士 (理学) (工学) (学術)	0.92	平成29年度	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	
地球環境科学専攻	2	81	-	162	修士 (理学) (工学) (学術)	1.06	平成29年度	同上	
先進理化学専攻	2	207	-	414	修士 (理学) (工学) (学術)	1.06	平成29年度	同上	
創成工学専攻	2	117	-	234	修士 (工学) (学術)	1.06	平成29年度	同上	
基幹工学専攻	2	150	-	300	修士 (工学) (学術)	1.05	平成29年度	同上	
融合理工学府 〔博士後期〕									

数学情報科学専攻	3	9	-	18	博士 (理学) (工学) (学術)	0.77	平成29年度	同上	
地球環境科学専攻	3	15	-	30	博士 (理学) (工学) (学術)	0.56	平成29年度	同上	
先進化学専攻	3	29	-	58	博士 (理学) (工学) (学術)	0.80	平成29年度	同上	
創成工学専攻	3	18	-	36	博士 (工学) (学術)	1.02	平成29年度	同上	
基幹工学専攻	3	17	-	34	博士 (工学) (学術)	1.08	平成29年度	同上	
理学研究科〔博士前期〕									
基盤理学専攻	2	-	-	-	修士 (理学)	-	平成19年度	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	基盤理学専攻、地球生命圏科学専攻は、平成29年度より学生募集停止。
地球生命圏科学専攻	2	-	-	-	修士 (理学)	-	平成19年度	同上	
理学研究科〔博士後期〕									
基盤理学専攻	3	-	-	-	博士 (理学)	-	平成19年度	同上	基盤理学専攻、地球生命圏科学専攻は、平成29年度より学生募集停止。
地球生命圏科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学)	-	平成19年度	同上	
工学研究科〔博士前期〕									
建築・都市科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成19年度	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	建築・都市科学専攻、デザイン科学専攻、人工システム科学専攻、共生応用化学専攻は、平成29年度より学生募集停止。
デザイン科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成19年度	同上	
人工システム科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成19年度	同上	
共生応用化学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成19年度	同上	
工学研究科〔博士後期〕									
建築・都市科学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	平成19年度	同上	建築・都市科学専攻、デザイン科学専攻、人工システム科学専攻、共生応用化学専攻は、平成29年度より学生募集停止。
デザイン科学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	平成19年度	同上	
人工システム科学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	平成19年度	同上	
共生応用化学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	平成19年度	同上	
園芸学研究科〔博士前期〕									
環境園芸学専攻	2	105	-	210	修士 (農学)	1.11	平成19年度	千葉県松戸市松戸648番地	
園芸学研究科〔博士後期〕									
環境園芸学専攻	3	18	-	54	修士 (農学)	1.09	平成19年度	同上	
融合科学研究科〔博士前期〕									
ナノサイエンス専攻	2	-	-	-	修士 (理学) (工学) (農学)	-	平成19年度	千葉県千葉市稲毛区弥生町1番33号	ナノサイエンス専攻、情報科学専攻は、平成29年度より学生募集停止。
情報科学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成19年度	同上	
融合科学研究科〔博士後期〕									
ナノサイエンス専攻	3	-	-	-	博士 (理学) (工学) (農学)	-	平成19年度	同上	ナノサイエンス専攻、情報科学専攻は、平成29年度より学生募集停止。
情報科学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	平成19年度	同上	
医学薬学府〔修士〕									
医科学専攻	2	27	-	54	修士 (医学)	0.96	平成17年度	千葉県千葉市中央区亥鼻1丁目8番1号	
総合薬品科学専攻	2	50	-	100	修士 (薬科学)	1.19	平成13年度	同上	
医学薬学府〔4年博士〕									
先端医学薬学専攻	4	108	-	432	博士 (薬学)	1.03	平成24年度	同上	
先進予防医学共同専攻	4	10	-	30	博士 (医学)	1.20	平成28年度	同上	
環境健康科学専攻	4	-	-	-	博士 (薬学)	-	平成13年度	同上	環境健康科学専攻、先進医療科学専攻、先端生命科学専攻は、平成24年度より学生募集停止。
先進医療科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	平成13年度	同上	
先端生命科学専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	平成13年度	同上	

医学薬学府 〔後期3年博士〕 先端創薬科学専攻	3	15	-	45	博士 (薬科学)	0.84	平成24年度	同上
看護学研究科〔修士〕 看護システム 管理学専攻	3	12	-	36	修士 (看護学)	1.02	平成14年度	千葉県千葉市中央区亥 鼻1丁目8番1号
看護学研究科 〔博士前期〕 看護学専攻	2	25	-	50	修士 (看護学)	0.92	昭和54年度	同上
看護学研究科 〔博士後期〕 看護学専攻	3	12	-	36	博士 (看護学)	0.94	平成5年度	同上
看護学研究科〔5年 一貫制博士課程〕 共同災害看護学専攻	5	2	-	10	博士 (看護学)	0.90	平成26年度	同上

(日本赤十字看護大学)

大学の名称	日本赤十字看護大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
(日本赤十字看護大学)									
看護学部看護学科	4	130	3年次10	540	学士(看護学)	1.11	昭和61年度	東京都渋谷区広尾4丁目1番3号	
大学院 看護学研究科修士課程看護学専攻	2	30	-	60	修士(看護学)	1.00	平成5年度		
看護学研究科修士課程国際保健助産学専攻	2	15	-	30	修士(看護学)	1.00	平成19年度		
大学院 看護学研究科博士後期課程看護学専攻	3	8	-	21	博士(看護学)	1.84	平成7年度		平成29年度から入学定員増(5→8)
大学院 看護学研究科博士課程共同災害看護学専攻	5	2	-	10	博士(看護学)	1.00	平成26年度		
(日本赤十字北海道看護大学)									
看護学部看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.11	平成11年度	北海道北見市曙町664番地の1	
大学院 看護学研究科修士課程看護学専攻	2	16	-	32	修士(看護学)	0.59	平成15年度		
大学院 看護学研究科博士課程共同看護学専攻	3	2	-	6	博士(看護学)	1.50	平成28年度		
(日本赤十字秋田看護大学)									
看護学部看護学科	4	100	-	400	学士(看護学)	1.11	平成21年度	秋田県秋田市上北手猿田字苗代沢17番地3	
大学院 看護学研究科修士課程看護学専攻	2	12	-	24	修士(看護学)	0.54	平成23年度		
大学院 看護学研究科博士課程共同看護学専攻	3	2	-	6	博士(看護学)	1.16	平成28年度		
(日本赤十字豊田看護大学)									
看護学部看護学科	4	120	-	480	学士(看護学)	1.12	平成16年度	愛知県豊田市白山町七曲12-33	
大学院 看護学研究科修士課程看護学専攻	2	10	-	20	修士(看護学)	0.65	平成22年度		
大学院 看護学研究科博士課程共同看護学専攻	3	2	-	6	博士(看護学)	1.16	平成28年度		
(日本赤十字広島看護大学)									
看護学部看護学科	4	125	-	500	学士(看護学)	1.16	平成12年度	広島県廿日市市阿品台東1番2号	
大学院 看護学研究科修士課程看護学専攻	2	10	-	20	修士(看護学)	0.90	平成16年度		
大学院 看護学研究科博士課程共同看護学専攻	3	2	-	6	博士(看護学)	1.50	平成28年度		

(日本赤十字九州国際看護大学)									
看護学部看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.09	平成13 年度	福岡県宗像市アス テイ1丁目1番地	
大学院 看護学研究科修士課 程看護学専攻	2	10	-	20	修士 (看護学)	0.95	平成19 年度		
大学院 看護学研究科博士課 程共同看護学専攻	3	2	-	6	博士 (看護学)	1.00	平成28 年度		
(日本赤十字秋田短期大学)									
介護福祉学科	2	30	-	80	短期大 学士 (介護 福祉 学)	0.53	平成8 年度	秋田県秋田市上北手 猿田字苗代沢17番地 3	平成30年度入学生 から入学定員の減 (50→30)

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A・C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・A・C対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

兼任	准教授	Ngatu Niandu Roger (47) <平成26年4月> Professional Writing	兼任	准教授	Ngatu Niandu Roger (47) <平成26年4月> Professional Writing	兼任	准教授	Ngatu Niandu Roger (48) <平成26年4月> Professional Writing	兼任	准教授	Ngatu Niandu Roger (49) <平成26年4月> Professional Writing	兼任	准教授	Ngatu Niandu Roger (50) <平成26年4月> Professional Writing
兼任	非常勤講師	似田貝 香門 (70) <平成26年4月> 災害社会学	兼任	非常勤講師	似田貝 香門 (70) <平成26年4月> 災害社会学	兼任	非常勤講師	似田貝 香門 (71) <平成26年4月> 災害社会学	兼任	非常勤講師	似田貝 香門 (72) <平成26年4月> 災害社会学	兼任	非常勤講師	似田貝 香門 (73) <平成26年4月> 災害社会学
兼任	非常勤講師	室崎 益輝 (69) <平成26年4月> 災害福祉学	兼任	非常勤講師	室崎 益輝 (69) <平成26年4月> 災害福祉学	兼任	非常勤講師	室崎 益輝 (70) <平成26年4月> 災害福祉学	兼任	非常勤講師	室崎 益輝 (71) <平成26年4月> 災害福祉学	兼任	非常勤講師	室崎 益輝 (72) <平成26年4月> 災害福祉学
兼任	非常勤講師	李 賢珠 (40) <平成26年4月> Professional Writing	兼任	非常勤講師	李 賢珠 (40) <平成26年4月> Professional Writing	兼任	非常勤講師	李 賢珠 (41) <平成26年4月> Professional Writing	兼任	非常勤講師	李 賢珠 (42) <平成26年4月> Professional Writing	兼任	非常勤講師	李 賢珠 (43) <平成26年4月> Professional Writing

【平成30年度】			【平成 年度】			【平成 年度】			【平成 年度】			【平成 年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名
専	教授	中山 洋子 (70) <平成26年4月> 看護研究方法 理論看護学Ⅱ 看護研究方法Ⅴ(現象学的研究方法) インディペンデントスタディ(演習)A インディペンデントスタディ(実習)A 実践課題レポート 災害看護研究デベロップメント 博士論文												
専	教授	野嶋 佐由美 (67) <平成26年4月> 理論看護学Ⅱ												
専	教授	南 裕子 (76) <平成27年4月> 看護研究方法 災害看護理論構築 インディペンデントスタディ(演習)A インディペンデントスタディ(実習)A 実践課題レポート 災害看護研究デベロップメント 博士論文												
専	教授	神原 咲子 (39) <平成26年4月> 看護研究方法 災害看護管理・指揮論 インディペンデントスタディ(演習)A インディペンデントスタディ(実習)A 実践課題レポート 災害看護研究デベロップメント												
兼	教授	山田 覚 (60) <平成26年4月> 災害看護管理・指揮論												
兼	教授	中野 綾美 (58) <平成26年4月> 看護研究方法												

兼担	教授	藤田 佐和 (58) <平成26年4月>							
		理論看護学Ⅱ							
兼担	教授	大村 誠 (59) <平成26年4月>							
		環境防災学							
兼担	准教授	吉川 孝 (43) <平成26年4月>							
		看護研究方法論Ⅴ(現象学的研究方法)							
兼任	非常勤講師	似田貝 香門 (74) <平成26年4月>							
		災害社会学							
兼任	非常勤講師	室崎 益輝 (73) <平成26年4月>							
		災害福祉学							
兼任	非常勤講師	李 賢珠 (44) <平成26年4月>							
		Professional Writing							

<兵庫県立大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名
専任	教授	山本 あい子 (61) <平成26年4月> 災害看護学特論 災害看護活動論演習Ⅱ インディペンデント スタディ(演習) B 災害看護学実習Ⅰ 災害看護研究ペ ロップメント 博士論文 インディペンデント スタディ(実習) B 実践課題レポート
専任	教授	片田 範子 (63) 平成26年4月 看護倫理 災害看護倫理 災害看護理論構築 災害看護研究ペ ロップメント 博士論文 インディペンデント スタディ(演習) B
専任	教授	臧 滄梨 (43) <平成26年4月> 災害看護活動論演習Ⅱ インディペンデント スタディ(演習) B 災害看護学実習Ⅰ 災害看護研究ペ ロップメント 博士論文 インディペンデント スタディ(実習) B 実践課題レポート
兼任	教授	相河 聡 (51) <平成26年4月> 災害情報学

【平成26年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名
専任	教授	山本 あい子 (61) <平成26年4月> 災害看護学特論 災害看護活動論演習Ⅱ インディペンデント スタディ(演習) B 災害看護学実習Ⅰ 災害看護研究ペ ロップメント 博士論文 インディペンデント スタディ(実習) B 実践課題レポート
専任	教授	片田 範子 (63) 平成26年4月 看護倫理 災害看護倫理 災害看護理論構築 災害看護研究ペ ロップメント 博士論文 インディペンデント スタディ(演習) B
専任	教授	臧 滄梨 (43) <平成26年4月> 災害看護活動論演習Ⅱ インディペンデント スタディ(演習) B 災害看護学実習Ⅰ 災害看護研究ペ ロップメント 博士論文 インディペンデント スタディ(実習) B 実践課題レポート
兼任	教授	相河 聡 (51) <平成26年4月> 災害情報学

【平成27年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名
専任	教授	山本 あい子 (62) <平成26年4月> 災害看護学特論 災害看護活動論演習Ⅱ インディペンデント スタディ(演習) B 災害看護学実習Ⅰ 災害看護研究ペ ロップメント 博士論文 インディペンデント スタディ(実習) B 実践課題レポート
専任	教授	片田 範子 (64) 平成26年4月 看護倫理 災害看護倫理 災害看護理論構築 災害看護研究ペ ロップメント 博士論文 インディペンデント スタディ(演習) B
兼任	教授	増野 圓基 (48) <平成26年4月> 災害看護活動論演習Ⅱ
兼任	教授	小西 美和子 (49) <平成26年4月> 災害看護活動論演習Ⅱ
兼任	教授	相河 聡 (52) <平成26年4月> 災害情報学

【平成28年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名
専任	教授	山本 あい子 (63) <平成26年4月> 災害看護学特論 災害看護活動論演習Ⅱ インディペンデント スタディ(演習) B 災害看護学実習Ⅰ 災害看護研究ペ ロップメント 博士論文 インディペンデント スタディ(実習) B 実践課題レポート
専任	教授	片田 範子 (65) 平成26年4月 看護倫理 災害看護倫理 災害看護理論構築 災害看護研究ペ ロップメント 博士論文 インディペンデント スタディ(演習) B
専任	教授	増野 圓基 (49) <平成28年4月> 災害看護活動論演習Ⅱ インディペンデント スタディ(演習) B 災害看護学実習Ⅰ 災害看護研究ペ ロップメント 博士論文 インディペンデント スタディ(実習) B
兼任	教授	小西 美和子 (50) <平成26年4月> 災害看護活動論演習Ⅱ
兼任	教授	相河 聡 (53) <平成26年4月> 災害情報学

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名
専任	教授	山本 あい子 (64) <平成26年4月> 災害看護学特論 災害看護活動論演習Ⅱ インディペンデント スタディ(演習) B 災害看護学実習Ⅰ 災害看護研究ペ ロップメント 博士論文 インディペンデント スタディ(実習) B 実践課題レポート
兼任	教授	片田 範子 (66) 平成26年4月 看護倫理 災害看護倫理 災害看護理論構築 災害看護研究ペ ロップメント 博士論文 インディペンデント スタディ(演習) B
専任	教授	増野 圓基 (50) <平成28年4月> 災害看護活動論演習Ⅱ インディペンデント スタディ(演習) B 災害看護学実習Ⅰ 災害看護研究ペ ロップメント 博士論文 インディペンデント スタディ(実習) B 実践課題レポート
兼任	教授	小西 美和子 (51) <平成26年4月> 災害看護活動論演習Ⅱ
兼任	教授	伊藤 もと代 (62) <平成29年4月> 災害看護活動論演習Ⅱ インディペンデント スタディ(演習) B 災害看護学実習Ⅰ
兼任	教授	相河 聡 (54) <平成26年4月> 災害情報学

兼任 准教授	木村 玲欧 (38) <平成27年4月>	兼任 准教授	木村 玲欧 (38) <平成27年4月>	兼任 准教授	木村 玲欧 (39) <平成27年4月>	兼任 准教授	木村 玲欧 (40) <平成27年4月>	兼任 准教授	木村 玲欧 (41) <平成27年4月>
	危機管理論		危機管理論		危機管理論		危機管理論		危機管理論
兼任 講師	広瀬 弘忠 (70) <平成26年4月>	兼任 講師	広瀬 弘忠 (70) <平成26年4月>	兼任 講師	土田 昭司 (57) <平成27年4月>	兼任 講師	土田 昭司 (56) <平成27年4月>	兼任 講師	土田 昭司 (56) <平成27年4月>
	災害心理学		災害心理学		災害心理学		災害心理学		災害心理学
兼任 講師	高木 廣文 (63) <平成27年4月>	兼任 講師	高木 廣文 (63) <平成27年4月>	兼任 講師	高木 廣文 (64) <平成27年4月>	兼任 講師	高木 廣文 (65) <平成27年4月>	兼任 講師	高木 廣文 (66) <平成27年4月>
	災害情報学		災害情報学		災害情報学		災害情報学		災害情報学
兼任 講師	Arturo PESIGAN (56) <平成28年4月>	兼任 講師	Arturo PESIGAN (56) <平成28年4月>	兼任 講師	Arturo PESIGAN (57) <平成28年4月>	兼任 講師	Arturo PESIGAN (58) <平成28年4月>	兼任 講師	Arturo PESIGAN (59) <平成28年4月>
	Program writing (Program proposal writing skill)		Program writing (Program proposal writing skill)		Program writing (Program proposal writing skill)		Program writing (Program proposal writing skill)		Program writing (Program proposal writing skill)
兼任 講師	Samantha Pang 彭 美慈 (60) <平成28年4月>	兼任 講師	Samantha Pang 彭 美慈 (60) <平成28年4月>	兼任 講師	Samantha Pang 彭 美慈 (61) <平成28年4月>	兼任 講師	Samantha Pang 彭 美慈 (62) <平成28年4月>	兼任 講師	Samantha Pang 彭 美慈 (63) <平成28年4月>
	災害看護倫理		災害看護倫理		災害看護倫理		災害看護倫理		災害看護倫理

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月>	担当授業科目名
兼任	教授	山本 あい子 (65) <平成26年4月>	災害看護学特論
専任	教授	梅田 麻希 (43) <平成30年4月>	看護倫理 インディペンデント スタディ (実習) 日 インディペンデント スタディ (実習) 日 実務課題レポート 災害看護研究デ ロップメント 博士論文
専任	教授	増野 園高 (51) <平成28年4月>	災害看護活動論演習 II インディペンデント スタディ (実習) 日 災害看護学実習1 災害看護研究デ ロップメント 博士論文 インディペンデント スタディ (実習) 日 実務課題レポート
兼任	教授	小西 美和子 (52) <平成26年4月>	災害看護活動論演習 II

【平成 年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月>	担当授業科目名

【平成 年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月>	担当授業科目名

【平成 年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月>	担当授業科目名

【平成 年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月>	担当授業科目名

<東京医科歯科大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月>	担当授業科目名
専任	教授	佐々木 吉子 (46) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ 災害看護活動論演習Ⅰ インディペンデント スタディ(演習)C 実践課題レポート 災害看護研究デバ ロップメント インディペンデント スタディ(実習)C 博士論文
専任	准教授	三浦 英恵 (42) <平成26年4月>	災害看護活動論演習Ⅰ インディペンデント スタディ(演習)C 実践課題レポート 災害看護研究デバ ロップメント インディペンデント スタディ(実習)C 博士論文
兼任	教授	井上 智子 (60) <平成26年4月>	看護研究方法Ⅳ (グランデッドセオリー)
兼任	教授	丸 光恵 (50) <平成27年4月>	看護研究方法Ⅰ (国際比較研究) Proposal writing(Research proposal writing skill)
兼任	教授	緒方 泰子 (45) <平成26年4月>	看護情報統計学
兼任	教授	大友 康裕 (54) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ
兼任	准教授	深堀 浩樹 (39) <平成27年4月>	グローバルヘルスと 政策
兼任	講師	山崎 達枝 (62) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ
兼任	講師	石井 美恵子 (51) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ

【平成26年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月>	担当授業科目名
専任	教授	佐々木 吉子 (47) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ 災害看護活動論演習Ⅰ インディペンデント スタディ(演習)C 実践課題レポート 災害看護研究デバ ロップメント インディペンデント スタディ(実習)C 博士論文
専任	准教授	三浦 英恵 (43) <平成26年4月>	災害看護活動論演習Ⅰ インディペンデント スタディ(演習)C 実践課題レポート 災害看護研究デバ ロップメント インディペンデント スタディ(実習)C 博士論文
兼任	教授	井上 智子 (60) <平成26年4月>	看護研究方法Ⅳ (グランデッドセオリー)
兼任	教授	丸 光恵 (50) <平成27年4月>	看護研究方法Ⅰ (国際比較研究) Proposal writing(Research proposal writing skill)
兼任	教授	緒方 泰子 (46) <平成26年4月>	看護情報統計学
兼任	教授	大友 康裕 (55) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ、 災害看護活動論演習Ⅰ
兼任	准教授	深堀 浩樹 (41) <平成27年4月>	グローバルヘルスと 政策
兼任	講師	山崎 達枝 (63) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ
兼任	講師	石井 美恵子 (52) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ 災害看護活動論演習Ⅰ

【平成27年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月>	担当授業科目名
専任	教授	佐々木 吉子 (48) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ 災害看護活動論演習Ⅰ インディペンデント スタディ(演習)C 実践課題レポート 災害看護研究デバ ロップメント インディペンデント スタディ(実習)C 博士論文
専任	准教授	三浦 英恵 (44) <平成26年4月>	災害看護活動論演習Ⅰ インディペンデント スタディ(演習)C 実践課題レポート 災害看護研究デバ ロップメント インディペンデント スタディ(実習)C 博士論文
兼任	教授	井上 智子 (61) <平成26年4月>	看護研究方法Ⅳ (グランデッドセオリー)
兼任	教授	近藤 晴子 (46) <平成27年4月>	看護研究方法Ⅰ (国際比較研究) Proposal writing(Research proposal writing skill)
兼任	教授	緒方 泰子 (47) <平成26年4月>	看護情報統計学
兼任	教授	大友 康裕 (56) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ、 災害看護活動論演習Ⅰ
兼任	准教授	深堀 浩樹 (42) <平成27年4月>	グローバルヘルスと 政策
兼任	講師	山崎 達枝 (64) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ
兼任	講師	石井 美恵子 (53) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ 災害看護活動論演習Ⅰ

【平成28年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月>	担当授業科目名
専任	教授	佐々木 吉子 (49) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ 災害看護活動論演習Ⅰ インディペンデント スタディ(演習)C 実践課題レポート 災害看護研究デバ ロップメント インディペンデント スタディ(実習)C 博士論文
専任	准教授	三浦 英恵 (45) <平成26年4月>	災害看護活動論演習Ⅰ インディペンデント スタディ(演習)C 実践課題レポート 災害看護研究デバ ロップメント インディペンデント スタディ(実習)C 博士論文 看護研究方法Ⅳ (グランデッドセオリー)
兼任	教授	近藤 晴子 (47) <平成27年4月>	看護研究方法Ⅰ (国際比較研究) Proposal writing(Research proposal writing skill)
兼任	教授	緒方 泰子 (48) <平成26年4月>	看護情報統計学
兼任	教授	大友 康裕 (57) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ
兼任	准教授	深堀 浩樹 (43) <平成27年4月>	グローバルヘルスと 政策
兼任	講師	高村 ゆ希 (36) <平成28年4月>	災害看護活動論Ⅰ
兼任	講師	石井 美恵子 (54) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ 災害看護活動論演習Ⅰ

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月>	担当授業科目名
専任	教授	佐々木 吉子 (50) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ 災害看護活動論演習Ⅰ インディペンデント スタディ(演習)C 実践課題レポート 災害看護研究デバ ロップメント インディペンデント スタディ(実習)C 博士論文 看護研究方法Ⅳ (グランデッドセオリー)
専任	准教授	近藤 晴子 (45) <平成29年4月>	災害看護活動論Ⅰ - 災害看護活動論演習Ⅰ - インディペンデント スタディ(演習)C - インディペンデント スタディ(実習)C - 実践課題レポート - 災害看護研究デバ ロップメント - 博士論文
兼任	教授	近藤 晴子 (48) <平成27年4月>	看護研究方法Ⅰ (国際比較研究) Proposal writing(Research proposal writing skill)
兼任	教授	緒方 泰子 (49) <平成26年4月>	看護情報統計学
兼任	教授	大友 康裕 (58) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ
兼任	准教授	深堀 浩樹 (44) <平成27年4月>	グローバルヘルスと 政策
兼任	講師	高村 ゆ希 (37) <平成28年4月>	災害看護活動論Ⅰ
兼任	講師	石井 美恵子 (55) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅰ 災害看護活動論演習Ⅰ

【平成30年度】			【平成 年度】			【平成 年度】			【平成 年度】			【平成 年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名
専任	教授	佐々木 吉子 (51) <平成26年4月> 災害看護活動論Ⅰ 災害看護活動論演習Ⅰ インディペンデント スタディ(演習)C 実践課題レポート 災害看護研究デベ ロップメント インディペンデント スタディ(実習)C 博士論文 看護研究方法論Ⅳ (グランデッドセオ リー)												
専任	准教授	駒形 朋子 (48) <平成29年4月> 災害看護活動論Ⅰ・ 災害看護活動論演習 Ⅰ・インディペン ディ(演習)G・ インディペン ディ(実習)G・ 実践課題 レポート・災害看護 研究デベロップ メント グローバルヘルスと 政策												
兼任	教授	近藤 晴子 (40) <平成27年4月> 看護研究方法論Ⅰ (国際比較研究) Proposal writing(Research proposal writing skill)												
兼任	教授	緒方 泰子 (50) <平成26年4月> 看護情報統計学												
兼任	教授	大友 康裕 (59) <平成26年4月> 災害看護活動論Ⅰ												
兼任	教授	深堀 浩樹 (44) <平成27年4月> グローバルヘルスと 政策												

兼任	教授	近藤昭彦 (59) <平成26年4月> 環境防災学 災害時専門職連携演 習(災害IP演習)						
兼任	准教授	岩崎寛 (48) <平成26年4月> 災害と文化 災害時専門職連携演 習(災害IP演習)						
兼任	講師	望月由紀 (46) <平成26年4月> 災害と文化						

<日本赤十字看護大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月>	担当授業科目名
専任	教授	田村 由美 (58) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルコーディネーション論 災害国際活動論 災害看護グローバルリーダー講習 インディペンデントスタディ(演習)E 災害看護学実習Ⅱ インディペンデントスタディ(実習)E 実践課題レポート 災害看護研究デベロップメント 博士論文
専任	教授	小原 真理子 (67) <平成28年4月>	災害医療学 災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルリーダー講習 災害看護学実習Ⅱ 実践課題レポート 災害看護研究デベロップメント 博士論文
専任	講師	内本 美恵 (48) <平成26年4月>	災害看護グローバルリーダー講習 インディペンデントスタディ(演習)E 災害看護学実習Ⅱ インディペンデントスタディ(実習)E
兼任	教授	小原 真理子 (65) <平成26年4月>	災害医療学 災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルリーダー講習 実践課題レポート
兼任	教授	筒井 真優美 (64) <平成26年4月>	看護研究方法論Ⅱ(エシカグラフィ)
兼任	教授	東浦 洋 (69) <平成26年4月>	災害看護グローバルコーディネーション論 災害国際活動論
兼任	講師	勝美 敦 (54) <平成26年4月>	災害医療学
兼任	講師	林 宗博 (50) <平成26年4月>	災害医療学 ※勝美 敦が病氣療養のため欠席
兼任	講師	丸山 嘉一 (53) <平成26年4月>	災害医療学
兼任	講師	上田 耕蔵 (62) <平成26年4月>	災害医療学
兼任	講師	小淵 岳恒 (40) <平成26年4月>	災害医療学

【平成26年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月>	担当授業科目名
専任	教授	田村 由美 (58) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルコーディネーション論 災害国際活動論 災害看護グローバルリーダー講習 インディペンデントスタディ(演習)E 災害看護学実習Ⅱ インディペンデントスタディ(実習)E 実践課題レポート 災害看護研究デベロップメント 博士論文
専任	教授	小原 真理子 (67) <平成28年4月>	災害医療学 災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルリーダー講習 災害看護学実習Ⅱ 実践課題レポート 災害看護研究デベロップメント 博士論文
専任	講師	内本 美恵 (48) <平成26年4月>	災害看護グローバルリーダー講習 インディペンデントスタディ(演習)E 災害看護学実習Ⅱ インディペンデントスタディ(実習)E
兼任	教授	小原 真理子 (65) <平成26年4月>	災害医療学 災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルリーダー講習 実践課題レポート
兼任	教授	筒井 真優美 (64) <平成26年4月>	看護研究方法論Ⅱ(エシカグラフィ)
兼任	教授	東浦 洋 (69) <平成26年4月>	災害看護グローバルコーディネーション論 災害国際活動論
兼任	講師	勝美 敦 (54) <平成26年4月>	災害医療学
兼任	講師	林 宗博 (50) <平成26年4月>	災害医療学 ※勝美 敦が病氣療養のため欠席
兼任	講師	丸山 嘉一 (53) <平成26年4月>	災害医療学
兼任	講師	上田 耕蔵 (62) <平成26年4月>	災害医療学
兼任	講師	小淵 岳恒 (40) <平成26年4月>	災害医療学

【平成27年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月>	担当授業科目名
専任	教授	田村 由美 (59) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルコーディネーション論 災害国際活動論 災害看護グローバルリーダー講習 インディペンデントスタディ(演習)E 災害看護学実習Ⅱ インディペンデントスタディ(実習)E 実践課題レポート 災害看護研究デベロップメント 博士論文
兼任	教授	小原 真理子 (66) <平成26年4月>	災害医療学 災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルリーダー講習 実践課題レポート
兼任	特任教授	筒井 真優美 (65) <平成26年4月>	看護研究方法論Ⅱ(エシカグラフィ)
兼任	客員教授	東浦 洋 (70) <平成26年4月>	災害看護グローバルコーディネーション論 災害国際活動論
兼任	講師	林 宗博 (51) <平成26年4月>	災害医療学
兼任	講師	丸山 嘉一 (54) <平成26年4月>	災害医療学
兼任	講師	上田 耕蔵 (63) <平成26年4月>	災害医療学
兼任	講師	小淵 岳恒 (41) <平成26年4月>	災害医療学

【平成28年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月>	担当授業科目名
専任	教授	田村 由美 (60) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルコーディネーション論 災害国際活動論 災害看護グローバルリーダー講習 インディペンデントスタディ(演習)E 災害看護学実習Ⅱ インディペンデントスタディ(実習)E 実践課題レポート 災害看護研究デベロップメント 博士論文
兼任	特任教授	小原 真理子 (67) <平成26年4月>	災害医療学 災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルリーダー講習 実践課題レポート 災害看護研究デベロップメント
兼任	特任教授	筒井 真優美 (66) <平成26年4月>	看護研究方法論Ⅱ(エシカグラフィ)
兼任	客員教授	東浦 洋 (71) <平成26年4月>	災害看護グローバルコーディネーション論 災害国際活動論
兼任	講師	林 宗博 (52) <平成26年4月>	災害医療学
兼任	講師	丸山 嘉一 (55) <平成26年4月>	災害医療学
兼任	講師	上田 耕蔵 (64) <平成26年4月>	災害医療学
兼任	講師	小淵 岳恒 (42) <平成26年4月>	災害医療学

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月>	担当授業科目名
専任	教授	田村 由美 (61) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルコーディネーション論 災害国際活動論 災害看護グローバルリーダー講習 インディペンデントスタディ(演習)E 災害看護学実習Ⅱ インディペンデントスタディ(実習)E 実践課題レポート 災害看護研究デベロップメント 博士論文
兼任	准教授	内本 美恵 (51) <平成26年4月>	災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルリーダー講習 インディペンデントスタディ(演習)E 災害看護学実習Ⅱ インディペンデントスタディ(実習)E 実践課題レポート 災害看護研究デベロップメント 博士論文
兼任	特任教授	筒井 真優美 (67) <平成26年4月>	看護研究方法論Ⅱ(エシカグラフィ)
兼任	講師	東浦 洋 (72) <平成26年4月>	災害看護グローバルコーディネーション論 災害国際活動論
兼任	講師	小原 真理子 (68) <平成29年4月>	災害医療学 災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルリーダー講習
兼任	講師	林 宗博 (53) <平成26年4月>	災害医療学
兼任	講師	丸山 嘉一 (56) <平成26年4月>	災害医療学
兼任	講師	上田 耕蔵 (65) <平成26年4月>	災害医療学
兼任	講師	小淵 岳恒 (43) <平成26年4月>	災害医療学

【平成30年度】			【平成 年度】			【平成 年度】			【平成 年度】			【平成 年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月> 担当授業科目名
専任	教授	田村 由美 (62) <平成26年4月> 災害医療学 災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルリーダー ディネーション論 災害国際活動論 災害看護グローバルリーダー 演習 インディペンデントスタ ディ(演習)Ⅱ 災害看護学実習Ⅱ インディペンデントスタ ディ(実習)Ⅱ 実践課題レポート 災害看護研究デベロッパ メント 博士論文												
専任	准教授	内本 美恵 (52) <平成26年4月> 災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルリーダー 演習 インディペンデントスタ ディ(演習)Ⅱ 災害看護学実習Ⅱ インディペンデントスタ ディ(実習)Ⅱ 実践課題レポート 災害看護研究デベロッパ メント 博士論文												
兼任	特任教授	筒井 真優美 (68) <平成26年4月> 看護研究方法論Ⅱ(エス ノグラフィ)												
兼任	講師	東浦 洋 (73) <平成26年4月> 災害看護グローバルコー ディネーション論 災害国際活動論												
兼任	講師	小原 真穂子 (69) <平成29年4月> 災害医療学 災害看護活動論Ⅱ 災害看護グローバルリーダー 演習												
兼任	講師	林 宗博 (54) <平成26年4月> 災害医療学												
兼任	講師	丸山 嘉一 (57) <平成26年4月> 災害医療学												
兼任	講師	上田 耕蔵 (66) <平成26年4月> 災害医療学												
兼任	講師	小淵 岳恒 (44) <平成26年4月> 災害医療学												

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、黒字又は欄外から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

<高知県立大学>

【平成26年度】

特になし。

【平成27年度】

特になし。

【平成28年度】

特になし。

【平成29年度】

- ・野嶋佐由美教授が学長就任による担当授業科目の調整のため、科目を変更。
- ・南裕子教授が学長退任による担当授業科目の調整のため、科目を変更。

【平成30年度】

- ・神原咲子准教授が昇任により、准教授から教授へ変更。
- ・Nsatu Nlandu Roger 准教授が退職のため、兼任教員から削除。
- ・科目実施体制充実のため、南裕子教授に「インディペンデントスタディ（実習）A」科目を追加。

<兵庫県立大学>

【平成26年度】

特になし。

【平成27年度】

- ・藏濤梨教授就任辞退により後任未定。すべての授業科目は、他に担当教員が2名いるため、支障はなし。
- ・授業実施のため教員追加：増野園恵教授（兼任）、小西美和子教授（兼任）

【平成28年度】

- ・藏濤梨教授補充のため、増野園恵教授が兼任から専任に変更。
- ・広瀬弘忠講師退職のため、土田昭司師に変更。

【平成29年度】

- ・片田範子教授定年退職のため、専任から兼任に変更。
- ・補充のため、伊藤ちぢ代教授を採用。

【平成30年度】

- ・山本あい子教授定年退職のため、専任から兼任に変更。
- ・片田範子教授、伊藤ちぢ代教授退職のため、梅田麻希教授、佐々木美絵准教授を採用。

<東京医科歯科大学>

【平成26年度】

・「災害看護活動論Ⅰ」「災害看護活動論演習Ⅰ」「看護研究方法論Ⅳ(グランデッドセオリー)」の内容充実を図るため、授業担当教員を追加。

【平成27年度】

・丸光恵教授の他大学転任による退職により、「看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)」「Proposal writing(Research proposal writing skill)」の授業担当教員を変更。
・「看護情報統計学」「グローバルヘルスと政策」の授業担当教員を変更。
・「Proposal writing(Research proposal writing skill)」「災害看護活動論演習Ⅰ」「インディペンデントスタディ(演習)C」の内容充実を図るため、授業担当教員を追加。

【平成28年度】

・井上智子教授の他大学転任による退職により、「看護研究方法論Ⅳ(グランデッドセオリー)」の授業担当教員を変更。
・「災害看護活動論Ⅰ」「災害看護活動論演習Ⅰ」「看護情報統計学」「グローバルヘルスと政策」の授業担当教員を変更。
・「看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)」「災害看護活動論演習Ⅰ」の内容充実を図るため、授業担当教員を追加。

【平成29年度】

・三浦英恵准教授退職により、駒形朋子准教授就任。
・「看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)」「看護研究方法論Ⅳ(グランデッドセオリー)」「グローバルヘルスと政策」の授業担当教員の変更。
・「看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)」の内容充実を図るため、授業担当教員を追加。

【平成30年度】

・「Proposal writing(Research proposal writing skill)」の授業担当教員を変更。
・「グローバルヘルスと政策」「災害看護活動論演習Ⅰ」の内容充実を図るため、授業担当教員を追加。

<千葉大学>

【平成26年度】

特になし。

【平成27年度】

・駒形朋子特任講師退職により、伊藤尚子准教授就任。

【平成28年度】

・科目の充実を図るため、坂上明子准教授、佐藤藤奈准教授、黒河内仙奈助教の3名を配置。
・神藤猛教授定年退職。
・臼井いづみ特任助教退職。

【平成29年度】

・黒河内仙奈助教退職。
・望月由紀特任准教授は講師に変更。

【平成30年度】

・坂上明子准教授退職。
・佐藤藤奈准教授は教育上の都合により辞退。

<日本赤十字看護大学>

【平成26年度】

・平成26年4月、勝美講師が病気療養のため林講師に変更。

【平成27年度】

・平成27年4月、筒井教授が特任教授に、東浦教授が客員教授に職位変更。

【平成28年度】

・平成28年4月、小原教授が特任教授に職位変更、担当授業科目の変更。
・内木講師の担当授業科目の変更。

【平成29年度】

・田村教授の担当授業科目の変更。
・平成29年4月、内木講師が准教授に職位変更（昇任）、担当授業科目の変更。
・平成29年4月、東浦客員教授、小原特任教授が講師に職位変更。

【平成30年度】

特になし。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

大学名	完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数		完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数		
高知県立大学	6 名	4 名	6 名
兵庫県立大学			
東京医科歯科大学			
千葉大学			
日本赤十字看護大学			

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

大学名	設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
高知県立大学	3	1	0	0	4	3	1	0	0	4	4	0	0	0	4
	(3)	(1)	(0)	(0)	(4)						[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	
兵庫県立大学	2	1	1		2	2	1	0	0	3	2	1	1		2
	(1)	(1)	(1)								[0]	[0]	[0]		[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	
東京医科歯科大学	3	0	0	0	3	3	0	0	0	3	3	0	0	0	3
	(2)	(0)	(0)	(0)	(2)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	
千葉大学	1	1	0	0	2	1	1	0	0	2	1	1	0	0	2
	(1)	(1)	(0)	(0)	(2)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	
日本赤十字看護大学	2	0	1	0	3	2	0	0	0	2	2	0	0	0	2
	(1)	(0)	(1)	(0)	(2)						[Δ1]	[1]	[Δ1]	[0]	[Δ1]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	
千葉大学	1	0	1	0	2	1	1	0	0	2	1	1	0	0	2
	(1)	(0)	(1)	(0)	(2)						[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	
日本赤十字看護大学	1	1	0		1	1	1	0		1	1	1	0		1
	(1)	(1)	(0)								[1]	[1]	[0]		[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	
日本赤十字看護大学	2	0	1	0	3	1	1	0	0	2	1	1	0	0	2
	(1)	(0)	(1)	(0)	(2)						[Δ1]	[1]	[Δ1]	[0]	[Δ1]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) -③ 年齢構成

大学名	年齢構成		
	定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上 記(B))の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
高知県立 大学	65 歳	3 名	3 名
兵庫県立 大学	65 歳	0 名	0 名
東京医科 歯科大学	65 歳	0 名	0 名
千葉大学	65 歳	1 名	1 名
日本赤十 字看護大 学	65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

<高知県立大学>

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{4}{4} = 100\%$$

<兵庫県立大学>

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{3} = 100\%$$

<東京医科歯科大学>

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{2} = 100\%$$

<千葉大学>

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{2} = 100\%$$

<日本赤十字看護大学>

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{3} = 66.66\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(2) -⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

<高知県立大学>

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{3}{4} = 75\%$$

<兵庫県立大学>

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{3} = 0\%$$

<東京医科歯科大学>

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{2} = 0\%$$

<千葉大学>

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{1}{2} = 50\%$$

<日本赤十字看護大学>

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{2} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
高知県立大学			該当なし				
兵庫県立大学	1	教授	臧 滄梨	必修	災害看護活動論演習Ⅱ	①	実父の病状悪化による在宅介護について、家族での対応ができず、本人による介護が必要となり、日本での勤務が困難となったことによる就任辞退。(26)
				選択	インディペンデントスタディ(演習)Ⅱ	①	
				必修	災害看護学実習Ⅰ	①	
				必修	災害看護研究デベロップメント	①	
				必修	博士論文	①	
				選択	インディペンデントスタディ(実習)Ⅱ	①	
				必修	実践課題レポート	①	
東京医科歯科大学			該当なし				
千葉大学	1	教授	宮崎 美砂子	必修	災害看護活動論Ⅲ	①	岩崎弥生教授の定年退職後に就任予定であったが、岩崎弥生教授が引き続き特任教授として就任することになったため就任辞退(29)
				選択	インディペンデントスタディ(演習)Ⅱ	②	
				必修	実践課題レポート	③	
				必修	災害看護研究デベロップメント	②	
				選択	インディペンデントスタディ(実習)Ⅱ	③	
				必修	博士論文	①	
日本赤十字看護大学	1	教授	小原 真理子	選択	災害医療学	②	他の専攻業務を担当することとなったため未就任。(28)
				必修	災害看護活動論Ⅱ	②	
				選択	災害看護「ローバ」シリーズ演習	②	
				必修	災害看護学実習Ⅱ	①	
				必修	実践課題レポート	②	
				必修	災害看護研究デベロップメント	②	
				必修	博士論文	①	
大学名	合計(D)				後任補充状況の集計(E)		
	就任を辞退した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)		
高知県立大学	該当なし						
兵庫県立大学	1	人	必修 : 5 科目	必修 : 5 科目	必修 : 0 科目	必修 : 0 科目	
			選択 : 2 科目	選択 : 2 科目	選択 : 0 科目	選択 : 0 科目	
			自由 : 0 科目	自由 : 0 科目	自由 : 0 科目	自由 : 0 科目	
			計 : 7 科目	計 : 7 科目	計 : 0 科目	計 : 0 科目	
東京医科歯科大学	該当なし						
千葉大学	1	人	必修 : 4 科目	必修 : 4 科目	必修 : 0 科目	必修 : 0 科目	
			選択 : 2 科目	選択 : 2 科目	選択 : 0 科目	選択 : 0 科目	
			自由 : 0 科目	自由 : 0 科目	自由 : 0 科目	自由 : 0 科目	
			計 : 6 科目	計 : 6 科目	計 : 0 科目	計 : 0 科目	
日本赤十字看護大学	1	人	必修 : 5 科目	必修 : 2 科目	必修 : 3 科目	必修 : 0 科目	
			選択 : 2 科目	選択 : 0 科目	選択 : 2 科目	選択 : 0 科目	
			自由 : 0 科目	自由 : 0 科目	自由 : 0 科目	自由 : 0 科目	
			計 : 7 科目	計 : 2 科目	計 : 5 科目	計 : 0 科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
高知県立大学			該当なし					
兵庫県立大学	1	教授	片田 範子	選択	看護倫理	①	定年退職のため(29)	
				必修	災害看護倫理	②		
				必修	災害看護理論構築	②		
				必修	災害看護研究デベロップメント	①		
				必修	博士論文	①		
	2	教授	山本あい子	選択	インディペンデントスタディ(演習)B	①		定年退職のため(30)
				必修	災害看護学特論	②		
				必修	災害看護活動論演習Ⅱ	①		
				必修	災害看護学実習Ⅰ	①		
				選択	インディペンデントスタディ(演習)B	①		
				選択	インディペンデントスタディ(実習)B	①		
				必修	実践課題レポート	①		
必修	災害看護研究デベロップメント	①						
必修	博士論文	①						
東京医科歯科大学大学院	1	准教授	三浦 英恵	選択	看護研究方法論Ⅳ	①	転職のため(29)	
				必修	災害看護活動論Ⅰ	①		
				必修	災害看護活動論演習Ⅰ	①		
	2	特任助教	今津 陽子	選択	インディペンデントスタディ(演習)C	①		転職のため(29)
				必修	災害看護活動論演習Ⅰ	①		
				選択	インディペンデントスタディ(演習)C	①		
千葉大学	1	講師	駒形 朋子	必修	災害看護活動論Ⅲ	①	平成27年1月から公益社団法人看護協会に就職のため辞任。(27)	
				選択	災害時専門職連携演習(災害IP演習)	①		
				選択	インディペンデントスタディ(演習)D	①		
				必修	実践課題レポート	①		
				選択	インディペンデントスタディ(実習)D	①		
				必修	災害看護研究デベロップメント	①		
東京医科歯科大学			該当なし					
大学名	合計(F)				後任補充状況の集計(G)			
	辞任した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)			
高知県立大学	該当なし							
兵庫県立大学	2	人	必修: 10 科目 選択: 4 科目 自由: 0 科目 計: 14 科目	必修: 7 科目 選択: 4 科目 自由: 0 科目 計: 11 科目	必修: 3 科目 選択: 0 科目 自由: 0 科目 計: 3 科目	必修: 0 科目 選択: 0 科目 自由: 0 科目 計: 0 科目		
東京医科歯科大学大学院	2	人	必修: 3 科目 選択: 3 科目 自由: 0 科目 計: 6 科目	必修: 3 科目 選択: 3 科目 自由: 0 科目 計: 6 科目	必修: 0 科目 選択: 0 科目 自由: 0 科目 計: 0 科目	必修: 0 科目 選択: 0 科目 自由: 0 科目 計: 0 科目		
千葉大学	1	人	必修: 3 科目 選択: 3 科目 自由: 0 科目 計: 6 科目	必修: 3 科目 選択: 3 科目 自由: 0 科目 計: 6 科目	必修: 0 科目 選択: 0 科目 自由: 0 科目 計: 0 科目	必修: 0 科目 選択: 0 科目 自由: 0 科目 計: 0 科目		
日本赤十字看護大学			該当なし					

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

大学名	合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)			
	辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
高知県立大学	該当なし					
兵庫県立大学	3	人	必修 : 15 科目 選択 : 6 科目 自由 : 0 科目 計 : 21 科目	必修 : 12 科目 選択 : 6 科目 自由 : 0 科目 計 : 18 科目	必修 : 3 科目 選択 : 0 科目 自由 : 0 科目 計 : 3 科目	必修 : 0 科目 選択 : 0 科目 自由 : 0 科目 計 : 0 科目
東京医科歯科大学大学院	2	人	必修 : 3 科目 選択 : 3 科目 自由 : 0 科目 計 : 6 科目	必修 : 3 科目 選択 : 3 科目 自由 : 0 科目 計 : 6 科目	必修 : 0 科目 選択 : 0 科目 自由 : 0 科目 計 : 0 科目	必修 : 0 科目 選択 : 0 科目 自由 : 0 科目 計 : 0 科目
千葉大学	2	人	必修 : 7 科目 選択 : 5 科目 自由 : 0 科目 計 : 12 科目	必修 : 7 科目 選択 : 5 科目 自由 : 0 科目 計 : 12 科目	必修 : 0 科目 選択 : 0 科目 自由 : 0 科目 計 : 0 科目	必修 : 0 科目 選択 : 0 科目 自由 : 0 科目 計 : 0 科目
日本赤十字看護大学	1	人	必修 : 5 科目 選択 : 2 科目 自由 : 0 科目 計 : 7 科目	必修 : 2 科目 選択 : 0 科目 自由 : 0 科目 計 : 2 科目	必修 : 3 科目 選択 : 2 科目 自由 : 0 科目 計 : 5 科目	必修 : 0 科目 選択 : 0 科目 自由 : 0 科目 計 : 0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

<高知県立大学>

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

<兵庫県立大学>

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{3} = \boxed{100} \%$$

<東京医科歯科大学>

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{2} = \boxed{100} \%$$

<千葉大学>

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{2} = \boxed{100} \%$$

<日本赤十字看護大学>

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{3} = \boxed{33.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
高知県立大学	該当なし						
兵庫県立大学	1	教授	片田 範子	選択	看護倫理	①	H29.3.31付け65歳で定年退職 (29)
				必修	災害看護倫理	②	
				必修	災害看護理論構築	②	
				必修	災害看護研究デベロップメント	①	
				必修	博士論文	①	
				選択	インディペンデントスタディ (演習) B	①	
	2	教授	山本あい子	必修	災害看護学特論	②	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)
				必修	災害看護活動論演習 II	①	
				必修	災害看護学実習 I	①	
				選択	インディペンデントスタディ (演習) B	①	
				選択	インディペンデントスタディ (実習) B	①	
				必修	実践課題レポート	①	
必修	災害看護研究デベロップメント	①					
必修	博士論文	①					

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成26年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	<p>○ 千葉大学大学院看護学研究科共同災害看護学専攻(D)・東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科共同災害看護学専攻(D)・兵庫県立大学大学院看護学研究科共同災害看護学専攻(D)・高知県立大学大学院看護学研究科共同災害看護学専攻(D)・日本赤十字看護大学大学院看護学研究科共同災害看護学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。</p>	改善意見	未履行
	<p>○ 同一設置者が設置する既設学部等(日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	改善意見	履行済
		<p>○ 日本赤十字秋田短期大学介護福祉学科の入学定員については、平成30年度から50名から30名に減ずる旨、平成29年6月22日付けで文部科学省へ届出済みである。(30)</p>	

(注)・「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

- ・「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

<高知県立大学>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

<兵庫県立大学>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

<東京医科歯科大学>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

<千葉大学>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備 大学院生室	① 看護・医薬系総合研究棟2階 235室(23㎡)から282室(26㎡)411室、421室、240室、 (各23㎡)、139室(47㎡)に変更(28)

<日本赤十字看護大学>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<高知県立大学>

① 実施体制

a 委員会の設置状況

共同災害看護学専攻教育課程連絡協議会

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

各構成大学の共同災害看護学専攻の専任教員及び各構成大学の共同災害看護学専攻が所属する研究科長が指名する教員が参加

c 委員会の審議事項等

- (1) 学生の身分取扱及び厚生補導に関する事項
- (2) 授業科目およびこれに関わる教員の配置に関する事項
- (3) カリキュラムの編成及び実施に関する事項
- (4) 研究指導教員の選定に係る事項
- (5) 入学者選抜の方針及び実施計画に関する事項
- (6) 成績評価の方針に関する事項
- (7) 学位審査委員会の設置に関する事項
- (8) 学位の授与及び課程修了の認定に関する事項
- (9) 教育研究活動等の状況の評価に関する事項
- (10) 予算に関する事項
- (11) 共同教育課程の編成及び実施のために必要な事項
- (12) 広報に関する事項
- (13) 自己点検・評価に関する事項
- (14) FD推進に関する事項
- (15) その他構成大学が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・テレビ会議システム等を使った遠隔授業方法についての研修会
- ・遠隔シミュレーション演習方法についての研修会 等
- ・国際セミナー、学際セミナー等への参加 等

b 実施方法

各構成大学の教員が参加するプロジェクトチームが研修会を企画

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

各構成大学の専任教員及び授業担当教員が研修会に参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修会での議論をもとに教授方法構築及び機器環境構築を実施

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成26年度より実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員へは各構成大学の学務より担当科目の評価結果を通知。
学生へはLMSを通じて教員からの評価のフィードバックを通知。

(兵庫県立大学)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

共同災害看護学専攻教育課程連絡協議会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

各構成大学の共同災害看護学専攻の専任教員及び各構成大学の共同災害看護学専攻が所属する研究科長が指名する教員が参加

c 委員会の審議事項等

- (1) 学生の身分取扱及び厚生補導に関する事項
- (2) 授業科目およびこれに関わる教員の配置に関する事項
- (3) カリキュラムの編成及び実施に関する事項
- (4) 研究指導教員の選定に係る事項
- (5) 入学者選抜の方針及び実施計画に関する事項
- (6) 成績評価の方針に関する事項
- (7) 学位審査委員会の設置に関する事項
- (8) 学位の授与及び課程修了の認定に関する事項
- (9) 教育研究活動等の状況の評価に関する事項
- (10) 予算に関する事項
- (11) 共同教育課程の編成及び実施のために必要な事項
- (12) 広報に関する事項
- (13) 自己点検・評価に関する事項
- (14) FD推進に関する事項
- (15) その他構成大学が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ テレビ会議システム等を使った遠隔授業方法についての研修会
- ・ 遠隔シミュレーション演習方法についての研修会
- ・ 国際セミナー、学際セミナー等への参加 等

b 実施方法

各構成大学の教員が参加するプロジェクトチームが研修会を企画

c 開催状況（教員の参加状況含む）

各構成大学の専任教員及び授業担当教員が研修会に参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修会での議論をもとに教授方法構築及び機器環境構築を実施

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成26年度より実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員へは各構成大学の学務より担当科目の評価結果を通知。
学生へはLMSを通じて教員からの評価のフィードバックを通知。

<東京医科歯科大学>

① 実施体制

a 委員会の設置状況

共同災害看護学専攻教育課程連絡協議会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

各構成大学の共同災害看護学専攻の専任教員及び各構成大学の共同災害看護学専攻が所属する研究科長が指名する教員が参加

c 委員会の審議事項等

- (1) 学生の身分取扱及び厚生補導に関する事項
- (2) 授業科目およびこれに関わる教員の配置に関する事項
- (3) カリキュラムの編成及び実施に関する事項
- (4) 研究指導教員の選定に係る事項
- (5) 入学者選抜の方針及び実施計画に関する事項
- (6) 成績評価の方針に関する事項
- (7) 学位審査委員会の設置に関する事項
- (8) 学位の授与及び課程修了の認定に関する事項
- (9) 教育研究活動等の状況の評価に関する事項
- (10) 予算に関する事項
- (11) 共同教育課程の編成及び実施のために必要な事項
- (12) 広報に関する事項
- (13) 自己点検・評価に関する事項
- (14) F D推進に関する事項
- (15) その他構成大学が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・テレビ会議システム等を使った遠隔授業方法についての研修会
- ・遠隔シミュレーション演習方法についての研修会 等
- ・国際セミナー、学際セミナー等への参加 等

b 実施方法

各構成大学の教員が参加するプロジェクトチームが研修会を企画

c 開催状況（教員の参加状況含む）

各構成大学の専任教員及び授業担当教員が研修会に参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修会での議論をもとに教授方法構築及び機器環境構築を実施

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成26年度より実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員へは各構成大学の学務より担当科目の評価結果を通知。
学生へはLMSを通じて教員からの評価のフィードバックを通知。

<千葉大学>

① 実施体制

a 委員会の設置状況

共同災害看護学専攻教育課程連絡協議会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

各構成大学の共同災害看護学専攻の専任教員及び各構成大学の共同災害看護学専攻が所属する研究科長が指名する教員が参加

c 委員会の審議事項等

- (1) 学生の身分取扱及び厚生補導に関する事項
- (2) 授業科目およびこれに関わる教員の配置に関する事項
- (3) カリキュラムの編成及び実施に関する事項
- (4) 研究指導教員の選定に係る事項
- (5) 入学者選抜の方針及び実施計画に関する事項
- (6) 成績評価の方針に関する事項
- (7) 学位審査委員会の設置に関する事項
- (8) 学位の授与及び課程修了の認定に関する事項
- (9) 教育研究活動等の状況の評価に関する事項
- (10) 予算に関する事項
- (11) 共同教育課程の編成及び実施のために必要な事項
- (12) 広報に関する事項
- (13) 自己点検・評価に関する事項
- (14) F D 推進に関する事項
- (15) その他構成大学が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ テレビ会議システム等を使った遠隔授業方法についての研究会
- ・ 遠隔シミュレーション演習方法についての研修会
- ・ 国際セミナー、学際セミナーへの参加 等

b 実施方法

各構成大学の教員が参加するプロジェクトチームが研修会を企画

c 開催状況（教員の参加状況含む）

各構成大学の専任教員及び授業担当者教員が研修に参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修会での議論をもとに教授方法構築及び機器環境構築を実施

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成26年度より実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員へは各構成大学の学務より担当科目の評価結果を通知。
学生へはLMSを通じて教員からの評価のフィードバックを通知。

<日本赤十字看護大学>

- ① 実施体制
- a 委員会の設置状況
共同災害看護学専攻教育課程連絡協議会
- b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
各構成大学の共同災害看護学専攻の専任教員及び各構成大学の共同災害看護学専攻が所属する研究科長が指名する教員が参加
- c 委員会の審議事項等
- (1) 学生の身分取扱及び厚生補導に関する事項
 - (2) 授業科目およびこれに関わる教員の配置に関する事項
 - (3) カリキュラムの編成及び実施に関する事項
 - (4) 研究指導教員の選定に係る事項
 - (5) 入学者選抜の方針及び実施計画に関する事項
 - (6) 成績評価の方針に関する事項
 - (7) 学位審査委員会の設置に関する事項
 - (8) 学位の授与及び課程修了の認定に関する事項
 - (9) 教育研究活動等の状況の評価に関する事項
 - (10) 予算に関する事項
 - (11) 共同教育課程の編成及び実施のために必要な事項
 - (12) 広報に関する事項
 - (13) 自己点検・評価に関する事項
 - (14) F D推進に関する事項
 - (15) その他構成大学が必要と認めた事項
- ② 実施状況
- a 実施内容
- ・テレビ会議システム等を使った遠隔授業方法についての研修会
 - ・遠隔シミュレーション演習方法についての研修会 等
 - ・国際セミナー、学際セミナー等への参加 等
- b 実施方法
各構成大学の教員が参加するプロジェクトチームが研修会を企画
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
各構成大学の専任教員及び授業担当教員が研修会に参加
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
研修会での議論をもとに教授方法構築及び機器環境構築を実施
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
平成26年度より実施
- b 教員や学生への公開状況、方法等
教員へは各構成大学の学務より担当科目の評価結果を通知。
学生へはLMSを通じて教員からの評価のフィードバックを通知。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<高知県立大学>

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 - ・平成29年12月18日（月）日本赤十字看護大学広尾キャンパスにおいて、災害看護グローバルリーダー養成プログラム外部評価会を実施。評価を受けるにあたり、共同教育課程4年間の成果を検証・点検した。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - ・未定
 - b 公表方法
 - ・自己点検・評価報告書を各大学のホームページ掲載及び年次報告書を作成する予定
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・高知県立大学は平成27年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受診済。次回受診は検討中。

(兵庫県立大学)

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 - 博士課程教育リーディングプログラム委員会の中間評価を受けるにあたり、共同教育課程2年間の成果を検証・点検した。（中間評価の結果は日本学術振興会のホームページに掲載。）
 - ・平成27年11月10日（火）高知県立大学池キャンパスにおいて、博士課程教育リーディングプログラム委員会中間評価現地調査を実施。
 - ・平成27年12月18日（金）日本学術振興会において、博士課程教育リーディングプログラム委員会中間評価ヒアリングを実施。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - ・研究科として4年に1回公表。直近では平成27年度に公表。
 - b 公表方法
 - ・自己点検・評価報告書を刊行し、看護系大学、関係機関に配布
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成28年度に大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価を受け、平成29年3月23日付けで機構が定める「大学評価基準を満たしている」という評価を得ている。

<東京医科歯科大学>

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 - 博士課程教育リーディングプログラム委員会の中間評価を受けるにあたり、共同教育課程2年間の成果を検証・点検した。（中間評価の結果は日本学術振興会のホームページに掲載。）
 - ・平成27年11月10日（火）高知県立大学池キャンパスにおいて、博士課程教育リーディングプログラム委員会中間評価現地調査を実施。
 - ・平成27年12月18日（金）日本学術振興会において、博士課程教育リーディングプログラム委員会中間評価ヒアリングを実施。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
 - ・未定
 - b 公表方法
 - ・自己点検・評価報告書を各大学のホームページに掲載及び年次報告書を作成する予定
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成27年度に大学評価・学位授与機構による大学機関別認証評価を受け、平成28年3月24日付けで機構が定める「大学評価基準を満たしている」という評価を得ている。

<千葉大学>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

博士課程教育リーディングプログラム委員会の中間評価を受けるにあたり、共同教育課程2年間の成果を検証・点検した。(中間評価の結果は日本学術振興会のホームページに掲載。)

- ・平成27年11月10日(火)高知県立大学池キャンパスにおいて、博士課程教育リーディングプログラム委員会中間評価現地調査を実施。
- ・平成27年12月18日(金)日本学術振興会において、博士課程教育リーディングプログラム委員会中間評価ヒアリングを実施。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・未定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を各大学のホームページ掲載及び年次報告書を作成する予定

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度に評価機関(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構)の評価を受けるべく、学内で検討中

<日本赤十字看護大学>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

博士課程教育リーディングプログラム委員会の中間評価を受けるにあたり、共同教育課程2年間の成果を検証・点検した。(中間評価の結果は日本学術振興会のホームページに掲載。)

- ・平成27年11月10日(火)高知県立大学池キャンパスにおいて、博士課程教育リーディングプログラム委員会中間評価現地調査を実施。
- ・平成27年12月18日(金)日本学術振興会において、博士課程教育リーディングプログラム委員会中間評価ヒアリングを実施。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成28年度 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成27年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受審済。次回受審は検討中。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<高知県立大学>

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表(予定)の有無 (有 ・ 無)
- b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年6月公表予定)

(兵庫県立大学)

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成30年6月公表予定)

<東京医科歯科大学>

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成30年6月)

<千葉大学>

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表(予定)の有無 (有 ・ 無)
- b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年6月公表予定)

<日本赤十字看護大学>

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表(予定)の有無 (有 ・ 無)
- b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年6月公表予定)

- (注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
- ・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。